

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 2
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/18		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170566011001	科目番号 / Subject code	05660110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 12611_002		
授業科目名 / Subject	日本国憲法 / The Constitution of Japan		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	池谷 和子 / Kazuko Ikeya		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	池谷 和子 / Kazuko Ikeya		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	池谷 和子 / Kazuko Ikeya		
科目分類 / Class type	人文・社会科学科目, 自由選択科目, 人文・社会科学科目, 自由選択科目, 教職免許科目・その		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生(クラス等) / Object Student	教育学部の中学校専攻と特別支援専攻と幼稚園専攻		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kazuikeya nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	教育学部本館609研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日の4校時		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	憲法の基本事項を理解し、実生活と関連づけて捉えられることが出来るような授業を行う。		
授業到達目標/Goal	今後の人生や就職に役立つような憲法の知識を身に付けさせること。		
授業方法(学習指導法) / Method	講義 + レポートの作成		
授業内容/Class outline/Con	1 オリエンテーション 2 憲法の基礎 3 国民主権と天皇制 4 平和主義 5 基本的人権の基礎 6 包括的基本権と法の下での平等 7 精神的自由権 8 精神的自由権 9 経済的自由権 10 人身の自由・国務請求権・参政権 11 社会権 12 国会 13 裁判所 14 家庭裁判所 15 内閣		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	憲法		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	・教科書： 芦部信喜『憲法第六版』岩波書店 ・六法(出版社は問わない)も持参すること		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	毎回のレポートの合計により成績評価		
受講要件(履修条件) / Requirements	4/5以上の出席が必須		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	教科書の該当部分を事前に予習した上で、それに関連した事柄について情報収集(テレビや新聞を見る、家族や友人と話をする等)をし、自ら日常生活に則して憲法を考えるように心がけておけば、レポートが書きやすくなります。		

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 2
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/18		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170566011002	科目番号 / Subject code	05660110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 12611_002		
授業科目名 / Subject	日本国憲法 / The Constitution of Japan		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	井田 洋子 / Ida Youko		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	井田 洋子 / Ida Youko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	井田 洋子 / Ida Youko		
科目分類 / Class type	人文・社会科学科目, 自由選択科目, 人文・社会科学科目, 自由選択科目, 教職免許科目・その		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟21 / RoomA-21		
対象学生(クラス等) / Object Student	教育学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	smile nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日授業後		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	国の根本規範としての憲法の実在意義ならびに基本原理(普遍的価値とされる基本的人権の尊重・民主権・権力分立・違憲立法審査制と、日本独自の価値である象徴天皇制と絶対的戦争放棄)を、歴史的、比較法的視点を踏まえ、具体的事例を参考にしながら考察する。		
授業到達目標/Goal	受講生が、憲法の基本概念を理解すること、主権者としての自覚をもち、憲法をめぐる問題を自身の問題として捉え、考えるようになること、日本社会だけでなく国際社会の問題に目をむけるようになること。		
授業方法(学習指導法)/Method	テキスト使用に加え、毎回A41枚程度のレジュメを配布するとともに、適宜その日のテーマに関連した判例を配布する。また、一方的な講義にならないよう、レポート等を通じて学生の考えに触れる機会を確保するよう務める。		
授業内容/Class outline/Con			
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	立憲主義、民主主義、国民権、基本的人権、個人の尊重、		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	【テキスト】日本語：大隈義和・大江正昭『憲法学へのいざない第3版』青林書院 英語：特になし 【参考文献】 前半・後半共通『ポケット六法』有斐閣等、いずれかの六法書 後半『世界憲法集』岩波書店		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	レポート50%、定期試験50%の総合評価。		
受講要件(履修条件)/Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	新聞やテレビ等で日々のニュースに触れ、国内外の状況に通じていることが、この授業を理解する上で有益である。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	憲法とはなにか 基本概念的把握—国家、民主主義、立憲主義、法治国家等		
第2回	憲法制定過程と2つの天皇制		
第3回	国民権と選挙制度		
第4回	法の下での平等		

第5回	信教の自由と政教分離
第6回	表現の自由 1
第7回	表現の自由 2
第8回	人身の自由
第9回	社会権
第10回	外国人の人権
第11回	国家権力の構造—立法権と行政権の関係
第12回	司法権
第13回	憲法9条と戦争放棄 1
第14回	憲法9条と戦争放棄 2
第15回	憲法改正問題
第16回	試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 1ク ォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/05/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170566011003	科目番号 / Subject code	05660110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 12611_002		
授業科目名 / Subject	日本国憲法 / The Constitution of Japan		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	池谷 和子 / Kazuko Ikeya		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	池谷 和子 / Kazuko Ikeya		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	池谷 和子 / Kazuko Ikeya		
科目分類 / Class type	人文・社会科学科目, 自由選択科目, 人文・社会科学科目, 自由選択科目, 教職免許科目・その		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟21 / RoomA-21		
対象学生 (クラス等) / Object Student	全学部 of 学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kazuikeya@nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	教育学部本館609研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日の4校時		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	憲法の基本事項を理解し、実生活と関連づけて捉えられることが出来るような授業を行う。		
授業到達目標/Goal	今後の人生や就職に役立つような憲法の知識を身に付けさせること。		
授業方法 (学習指導法) /Method	講義 + レポートの作成		
授業内容/Class outline/Con	1 オリエンテーション 2 憲法の基礎 3 国民主権と天皇制 4 平和主義 5 基本的人権の基礎 6 包括的基本権と法の下での平等 7 精神的自由権? 8 精神的自由権? 9 経済的自由権 10 人身の自由・国務請求権・参政権 11 社会権 12 国会 13 裁判所 14 家庭裁判所 15 内閣		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	憲法		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	・教科書: 芦部信喜『憲法第六版』岩波書店 ・六法 (出版社は問わない) も持参すること		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	毎回のレポートの合計により成績評価		
受講要件 (履修条件) /Requirements	授業は2コマ連続で行われます。 初日 (1と2) の講義を受講していない学生は、単位は取れません。 その上で、4/5以上の出席が必須		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り 組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、 担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	教科書の該当部分を事前に予習した上で、それに関連した事柄について情報収集 (テレビや新聞を 見る、家族や友人と話をする等) をし、自ら日常生活に則して憲法を考えるように心がけておけば、 レポートが書きやすくなります。		

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/05/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170566011004	科目番号 / Subject code	05660110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 12611_002		
授業科目名 / Subject	日本国憲法 / The Constitution of Japan		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	植木 とみ子 / Tomiko Ueki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	植木 とみ子 / Tomiko Ueki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	植木 とみ子 / Tomiko Ueki		
科目分類 / Class type	人文・社会科学科目, 自由選択科目, 人文・社会科学科目, 自由選択科目, 教職免許科目・その		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13, 教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生 (クラス等) / Object Student	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tuterrace kzh.biglobe.ne.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	092-521-6851		
担当教員オフィスアワー/Office hours	eメールにて随時受け付けます		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	日本国憲法が、いかに日本国民にとって大切なものであるか、私たちの権利も義務も基本的にこの日本国憲法によって守られていること、そしてこの日本国憲法を守るのもまた私たち自身であることの自覚を持っていただくことを目的としています		
授業到達目標/Goal	日本国を支える一員として、日本国憲法の全体を理解し、大切な条文は諳んじていただくことを期待します		
授業方法 (学習指導法) /Method	必要最小の限度で講義形式で憲法の概要を説明しますが、基本的には実際に争われた裁判の事例を検討することにより、憲法がいかに市民生活に身近でたいせつなものであるかを、実感していただけるような授業を展開したいと考えています。そのため授業の3回目あたりから、裁判形式でみなさんの積極的なディベートを期待しています		
授業内容/Class outline/Con	まず、日本国憲法の重要性について、つぎに日本国憲法の基本的理念である民主権と平和主義について、講義します。基本的人権については、包括的基本権と法の下での平等、さらに各種の自由権や社会権について、できるだけ身近な判例を数多く取り上げ、検討して参ります。統治機構については、その仕組みを理解し、健全な批判精神をもっていただくために、日々の社会事象を取り上げたいと考えています。 日本国憲法は、関係する条文を毎回確認していきますので、どのような形で結構ですから、必ず入手して下さい		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	日本国憲法の条文を各自用意して下さい (103条しかありませんから、コピーしてもらいたくはありません) 裁判例についてはこちらで用意します		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	判例や条文に関する試験を実施します		
受講要件 (履修条件) /Requirements			
アクセシビリティ /Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	常に社会の出来事をチェックし、自分との関係を考えること		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	法とはなにか、憲法と他の法律との関係		
第2回	民主権 (大日本帝国憲法と日本国憲法)		
第3回	平和主義 (憲法9条、沖縄)		
第4回	幸福追求権 (プライバシーの権利、自己決定権)		
第5回	法の下での平等 (男女は平等か、尊属殺について)		
第6回	内心の自由 (信教の自由、政教分離、学問の自由と大学の自治)		

第7回	表現の自由（ポルノ・有害図書、報道の自由と限界、教科書検定）
第8回	経済的自由（職業選択の自由と営業の規制、私有財産の保障とその制限）
第9回	人身の自由（適正手続きとは、死刑制度について）
第10回	社会権（生存権と生活保護、教育権は誰のもの、労働基本権）
第11回	国務請求権と参政権 基本的人権の限界（公務員、外国人、私的関係）
第12回	立法（国会の二院制は必要か、一票の重みの格差）
第13回	行政（議員内閣制、行政の肥大化）
第14回	司法（裁判所の組織、裁判員制度）
第15回	地方自治（地方自治の実態、これからの地方自治のあり方） 憲法の保障（憲法改正に関する諸問題）
第16回	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2017/06/05 ~ 2017/08/02		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170566011005	科目番号 / Subject code	05660110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 12611_002		
授業科目名 / Subject	日本国憲法 / The Constitution of Japan		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	植木 とみ子 / Tomiko Ueki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	植木 とみ子 / Tomiko Ueki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	植木 とみ子 / Tomiko Ueki		
科目分類 / Class type	人文・社会科学科目, 自由選択科目, 人文・社会科学科目, 自由選択科目, 教職免許科目・その		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生 (クラス等) / Object Student	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tuterrace kzh.biglobe.ne.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	092-521-6851		
担当教員オフィスアワー/Office hours	eメールにて随時受け付けます		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	日本国憲法が、いかに日本国民にとって大切なものであるか、私たちの権利も義務も基本的にこの日本国憲法によって守られていること、そしてこの日本国憲法を守るのもまた私たち自身であることの自覚を持っていただくことを目的としています		
授業到達目標/Goal	日本国を支える一員として、日本国憲法の全体を理解し、大切な条文は諳んじていただくことを期待します		
授業方法 (学習指導法) /Method	必要最小の限度で講義形式で憲法の概要を説明しますが、基本的には実際に争われた裁判の事例を検討することにより、憲法がいかに市民生活に身近でたいせつなものであるかを、実感していただけるような授業を展開したいと考えています。そのため授業の3回目あたりから、裁判形式でみなさんの積極的なディベートを期待しています		
授業内容/Class outline/Con	まず、日本国憲法の重要性について、つぎに日本国憲法の基本的理念である国民主権と平和主義について、講義します。基本的人権については、包括的基本権と法の下での平等、さらに各種の自由権や社会権について、できるだけ身近な判例を数多く取り上げ、検討して参ります。統治機構については、その仕組みを理解し、健全な批判精神をもっていただくために、日々の社会事象を取り上げたいと考えています。 日本国憲法は、関係する条文を毎回確認していきますので、どのような形で結構ですから、必ず入手して下さい		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	日本国憲法の条文を各自用意して下さい (103条しかありませんから、コピーしてもらいたくはありません) 裁判例についてはこちらで用意します		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	判例や条文に関する試験を実施します		
受講要件 (履修条件) /Requirements			
アクセシビリティ /Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	常に社会の出来事をチェックし、自分との関係を考えること		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	法とはなにか、憲法と他の法律との関係		
第2回	国民主権 (大日本帝国憲法と日本国憲法)		
第3回	平和主義 (憲法9条、沖縄)		
第4回	幸福追求権 (プライバシーの権利、自己決定権)		
第5回	法の下での平等 (男女は平等か、尊属殺について)		
第6回	内心の自由 (信教の自由、政教分離、学問の自由と大学の自治)		

第7回	表現の自由（ポルノ・有害図書、報道の自由と限界、教科書検定）
第8回	経済的自由（職業選択の自由と営業の規制、私有財産の保障とその制限）
第9回	人身の自由（適正手続きとは、死刑制度について）
第10回	社会権（生存権と生活保護、教育権は誰のもの、労働基本権）
第11回	国務請求権と参政権 基本的人権の限界（公務員、外国人、私的関係）
第12回	立法（国会の二院制は必要か、一票の重みの格差）
第13回	行政（議員内閣制、行政の肥大化）
第14回	司法（裁判所の組織、裁判員制度）
第15回	地方自治（地方自治の実態、これからの地方自治のあり方） 憲法の保障（憲法改正に関する諸問題）
第16回	定期試験



学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 4ク ォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2017/11/28 ~ 2018/01/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170566011006	科目番号 / Subject code	05660110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 12611_002		
授業科目名 / Subject	日本国憲法 / The Constitution of Japan		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	植木 とみ子 / Tomiko Ueki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	植木 とみ子 / Tomiko Ueki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	植木 とみ子 / Tomiko Ueki		
科目分類 / Class type	人文・社会科学科目, 自由選択科目, 人文・社会科学科目, 自由選択科目, 教職免許科目・その		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生 (クラス等) / Object Student	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tuterrace kzh.biglobe.ne.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	092-521-6851		
担当教員オフィスアワー/Office hours	eメールにて随時受け付けます		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	日本国憲法が、いかに日本国民にとって大切なものであるか、私たちの権利も義務も基本的にこの日本国憲法によって守られていること、そしてこの日本国憲法を守るのもまた私たち自身であることの自覚を持っていただくことを目的としています		
授業到達目標/Goal	日本国を支える一員として、日本国憲法の全体を理解し、大切な条文は諳んじていただくことを期待します		
授業方法 (学習指導法) /Method	必要最小の限度で講義形式で憲法の概要を説明しますが、基本的には実際に争われた裁判の事例を検討することにより、憲法がいかに市民生活に身近でたいせつなものであるかを、実感していただけるような授業を展開したいと考えています。そのため授業の3回目あたりから、裁判形式でみなさんの積極的なディベートを期待しています		
授業内容/Class outline/Con	まず、日本国憲法の重要性について、つぎに日本国憲法の基本的理念である国民主権と平和主義について、講義します。基本的人権については、包括的基本権と法の下での平等、さらに各種の自由権や社会権について、できるだけ身近な判例を数多く取り上げ、検討して参ります。統治機構については、その仕組みを理解し、健全な批判精神をもっていただくために、日々の社会事象を取り上げたいと考えています。 日本国憲法は、関係する条文を毎回確認していきますので、どのような形でも結構ですから、必ず入手して下さい		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	日本国憲法の条文を各自用意して下さい (103条しかありませんから、コピーしてもらいたくはありません) 裁判例についてはこちらで用意します		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	判例や条文に関する試験を実施します		
受講要件 (履修条件) /Requirements			
アクセシビリティ /Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	常に社会の出来事をチェックし、自分との関係を考えること		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	法とはなにか、憲法と他の法律との関係		
第2回	国民主権 (大日本帝国憲法と日本国憲法)		
第3回	平和主義 (憲法9条、沖縄)		
第4回	幸福追求権 (プライバシーの権利、自己決定権)		
第5回	法の下での平等 (男女は平等か、尊属殺について)		
第6回	内心の自由 (信教の自由、政教分離、学問の自由と大学の自治)		

第7回	表現の自由（ポルノ・有害図書、報道の自由と限界、教科書検定）
第8回	経済的自由（職業選択の自由と営業の規制、私有財産の保障とその制限）
第9回	人身の自由（適正手続きとは、死刑制度について）
第10回	社会権（生存権と生活保護、教育権は誰のもの、労働基本権）
第11回	国務請求権と参政権 基本的人権の限界（公務員、外国人、私的関係）
第12回	立法（国会の二院制は必要か、一票の重みの格差）
第13回	行政（議員内閣制、行政の肥大化）
第14回	司法（裁判所の組織、裁判員制度）
第15回	地方自治（地方自治の実態、これからの地方自治のあり方） 憲法の保障（憲法改正に関する諸問題）
第16回	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 4ク ォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2017/11/28 ~ 2018/01/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170568003001	科目番号 / Subject code	05680030
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	物理学 / Physical Science		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	松田 良信 / Matsuda Yoshinobu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	松田 良信 / Matsuda Yoshinobu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	松田 良信 / Matsuda Yoshinobu		
科目分類 / Class type	自然科学科目, 自由選択科目, 自然科学科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Object Student	anyone		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ymat nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	Engineering Building 2, E509		
担当教員TEL/Tel	095-819-2540		
担当教員オフィスアワー/Office hours	anytime		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	Knowledge of physics is indispensable not only for understanding the nature, but also for living one's daily life. It is important to reason logically and express accurately in the social life. By learning physics, we can acquire logical thinking and expression with abstract concepts, and develop a clear sense of perspective. This course is a subject to acquire the minimum knowledge of physics necessary for science teachers.		
授業到達目標/Goal	Able to solve physical problems by using basic mathematics		
授業方法 (学習指導法) /Method	Lecture and excercises		
授業内容/Class outline/Con	Lecture and excercises  1 mechanics(velocity, acceleration) 2 mechanics(equation of motion) 3 mechanics(work, potential energy, kinetic energy, energy conservation) 4 mechanics(momentum, angular momentum, circular motion) 5 mechanics(rigid body, moment of inertia) 6 mechanics(elastic body, deformity) 7 mechanics(summary) 8 electromagnetism(current, Joule heat, resistance, electric circuit) 9 electromagnetism(charge, electric field, potential) 10 electromagnetism(potential) 11 electromagnetism(dielectrics, capacitor, dipole moment) 12 electromagnetism(magnetic field, magnetic flux density, Ampere's law) 13 electromagnetism(electromagnetic induction, inductance) 14 electromagnetism(Maxwell's equations, electromagnetic wave, light) 15 electromagnetism(summary) 16 Final Exam		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	mechanics, electromagnetism		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Textbook: R. Abe, Essential Physics (Saiensu-sha, Co., Ltd. Publishers, 2002) ISBN4-7819-1028-9		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	Exercise & Report (30 points) and final examination (70 points). Pass mark: 60 points		
受講要件 (履修条件) /Requirements			
アクセシビリティ /Accessibility	In order to ensure equal educational opportunities for all students, Nagasaki University strives to remove societal barriers that may interfere with academic activities, and to provide reasonable accommodations as necessary and appropriate. If you have any questions or concerns regarding reasonable accommodations or other support in this class, please feel free to talk to the instructor (contact information above), or contact the Student Accessibility Office. Student Accessibility Office contact information (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	Perfect attendance is recommended. For details, see LACS.		

授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
	.

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 4ク ォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2017/11/28 ~ 2018/01/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170568003001	科目番号 / Subject code	05680030
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	物理学 / Physical Science		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	松田 良信 / Matsuda Yoshinobu		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	松田 良信 / Matsuda Yoshinobu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	松田 良信 / Matsuda Yoshinobu		
科目分類 / Class type	自然科学科目, 自由選択科目, 自然科学科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生(クラス等) / Object Student	全学年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ymat nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	工学部 2号館E509		
担当教員TEL/Tel	095-819-2540		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	自然の成り立ちや振る舞いを理解するだけでなく、日常生活を送る中で物理学の知識は欠かせない。社会生活における状況の理解・判断においても、ものごとを論理的に考え、的確に表現することは非常に重要である。物理学を学ぶことにより、私たちは論理的な思考法や抽象的な概念を用いた表現法を身に付けていくことができ、物事の本質を見抜く目を養うことができる。本科目は理科教員として必要な物理の最低限の知識を身につけるための科目である。		
授業到達目標/Goal	物理学が実に豊かな広がりを持ってこの世界の中に存在していること、私たちの身の回りの事柄に深く関係していることを理解し、基本的な数学を用いて個別の具体的な物理問題を解くことができる。		
授業方法(学習指導法)/Method	講義に演習を織り込みながら、授業を行う。必要最小限の物理学リテラシーとして、広くて豊かな物理学の世界をできるだけ分かりやすい形で提示する。内容としては力学と電磁気学を中心とする古典物理学に焦点を絞る。		
授業内容/Class outline/Con	<p>授業内容(到達目標)</p> <p>1回目 力学(速度、加速などを理解する)</p> <p>2回目 力学(運動方程式などを理解する)</p> <p>3回目 力学(仕事、ポテンシャル、エネルギーなどを理解する)</p> <p>4回目 力学(運動量、角運動量などを理解する)</p> <p>5回目 力学(剛体の運動、慣性モーメントなどを理解する)</p> <p>6回目 力学(変形する物体の性質などを理解する)</p> <p>7回目 力学(力学全体の総括)</p> <p>8回目 電磁気学(電流、ジュール熱、抵抗、電気回路などを理解する)</p> <p>9回目 電磁気学(電荷、電場などを理解する)</p> <p>10回目 電磁気学(電位などを理解する)</p> <p>11回目 電磁気学(誘電体、キャパシタ、電気双極子などを理解する)</p> <p>12回目 電磁気学(電流と磁場、磁束密度、アンペールの法則などを理解する)</p> <p>13回目 電磁気学(電磁誘導、インダクタンスなどを理解する)</p> <p>14回目 電磁気学(Maxwellの方程式、電磁波、光の性質などを理解する)</p> <p>15回目 電磁気学(電磁気学全体の総括)</p> <p>16回目 定期試験</p> <p>(ホームワーク) レポート課題については授業中に指示する。</p>		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	力学、電磁気学		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	<p>教科書: 阿部龍蔵著, Essential 物理学(サイエンス社、新物理学ライブラリ別巻1) ISBN4-7819-1028-9</p> <p>参考書: 大学教養レベルの物理テキストなら何でも良いので、授業と平行して複数冊を読むと良い。</p>		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	積極的参加状況と演習課題(30点)および最終試験(70点)の合計で評価する。100点満点で60点以上を合格とする。		
受講要件(履修条件)/Requirements	特になし		

アクセシビリティ/Accessibility	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先  (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948  (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp</p>
備考 (URL) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	<p>全回出席を原則とする。やむを得ず欠席する場合は事前に電子メールで担当教員に連絡すること。板書と演習を中心に授業を行うので、講義ノートをしっかり作ってください。内容を理解するコツは、とにかくたくさん書くことです。</p>

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/05/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170569000701	科目番号 / Subject code	05690007
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 11311_001		
授業科目名 / Subject	解放講座 / On Social Leveling		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	阿南 重幸 / Anan Shigeyuki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	阿南 重幸 / Anan Shigeyuki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	阿南 重幸 / Anan Shigeyuki		
科目分類 / Class type	A科目群 総合科目, 総合科学科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生 (クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	scykf338 yahoo.co.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	9045868939		
担当教員オフィスアワー/Office hours	scykf338@yahoo.co.jp		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	21世紀は人権の世紀といわれる。本講座は、人権の意味を正しく理解し、部落問題やアイヌ、ハンセン病、外国人、性的マイノリティ、冤罪事件等個別の人権問題と向き合う力をつけることを目的とする。		
授業到達目標/Goal	上記の人権課題について、正しく理解し考える力をつける。		
授業方法 (学習指導法) /Method	講義、動画、ワークショップ等		
授業内容/Class outline/Con	今なぜ人権教育か?を問い、人権の概要、そして、具体課題に進みます。部落問題、在日コリアン、アイヌ問題、ハンセン病問題、性的マイノリティ等の問題を学び、最後に解決に向けたプログラム、ワークショップを行います。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業の後、関連する書籍、動画等を学習してください。		
キーワード/Key word	知識とスキル、態度		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	プリント等を配布		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	中間レポート(20)最終レポート(50)、授業ごとの「意見質問用紙」記載内容(30)を考慮する。		
受講要件 (履修条件) /Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	正確な知識をつけ、考える力を身に付けてください。配布の資料は、ファイルに閉じてください。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	今なぜ人権教育か? 私たちの町再発見		
第2回	差別とは? 人権問題とは?		
第3回	教科書に見る部落問題		
第4回	教科書に見る部落問題		
第5回	在日外国人と人権		
第6回	在日外国人と人権		
第7回	アイヌ問題と人権		
第8回	アイヌ問題と人権		

第9回	ハンセン病と人権
第10回	ハンセン病と人権
第11回	冤罪事件について具体的事例を中心として (藤澤秀雄)
第12回	冤罪事件について具体的事例を中心として (藤澤秀雄)
第13回	人権問題の解決のに向けたプログラム
第14回	人権問題の解決のに向けたプログラム
第15回	人権問題の解決のに向けたワークショップ



学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2017/11/22		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170569000702	科目番号 / Subject code	05690007
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 11311_001		
授業科目名 / Subject	解放講座 / On Social Leveling		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	阿南 重幸 / Anan Shigeyuki		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	阿南 重幸 / Anan Shigeyuki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	阿南 重幸 / Anan Shigeyuki		
科目分類 / Class type	A科目群 総合科目, 総合科学科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生(クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	scykf338 yahoo.co.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	9045868939		
担当教員オフィスアワー/Office hours	scykf338@yahoo.co.jp		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	21世紀は人権の世紀ともいわれる。本講座は人権の意味を正しく理解し、部落問題やアイヌ、ハンセン病、外国人、性的マイノリティ、冤罪事件等個別の人権問題に向き合う力を付けることを目的とする。		
授業到達目標/Goal	上記の人権問題について、正しく理解し考える力を付ける。		
授業方法(学習指導法) / Method	講義、動画、ワークショップ		
授業内容/Class outline/Con	今なぜ人権教育か?を問い、人権の概要、そして、具体課題に進みます。部落問題、在日コリアン、アイヌ問題、ハンセン病問題、性的マイノリティ等の問題を学び、最後に解決に向けたプログラム、ワークショップを行います。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業後に、関連する書籍、動画等を学習すること。		
キーワード/Key word	知識、スキル、態度		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	授業ごとに、資料を配布する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	中間レポート(20)最終レポート(50)、「意見質問用紙」(30)等を考慮する。		
受講要件(履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	正確な知識をつけ、考える力を身に付けてください。配布する資料はファイルに閉じてください。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	今なぜ人権教育か? 私たちの町再発見		
第2回	差別とは? 人権問題とは?		
第3回	教科書に見る部落問題		
第4回	教科書に見る部落問題		
第5回	在日外国人と人権		
第6回	在日外国人と人権		
第7回	アイヌ問題と人権		
第8回	アイヌ問題と人権		
第9回	ハンセン病と人権		
第10回	ハンセン病と人権		

第11回	冤罪事件について具体的事例を中心として (藤澤秀雄)
第12回	冤罪事件について具体的事例を中心として (藤澤秀雄)
第13回	人権問題の解決のに向けたプログラム
第14回	人権問題の解決のに向けたプログラム
第15回	人権問題の解決のに向けたワークショップ

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/08/07		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170569001101	科目番号 / Subject code	05690011
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 11611_001		
授業科目名 / Subject	全学乗船実習 / Training Cruise for General Students		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	清水 健一 / Shimizu Kenichi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	清水 健一 / Shimizu Kenichi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	清水 健一 / Shimizu Kenichi		
科目分類 / Class type	総合科学科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room			
対象学生 (クラス等) / Object Student	Undergraduate students		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	kshimizu@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	A-94, 3rd floor, Faculty of fisheries		
担当教員TEL / Tel	095-819-2805		
担当教員オフィスアワー / Office hours	15:00 ~ (Thursday, Friday)		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	Experience on board ship training by using Nagasaki Maru		
授業到達目標 / Goal	Learn / training about basic of Navigation, seamanship, ocean obsearvasion method of fisheries		
授業方法 (学習指導法) / Method	Learn about basic method for fix position on the sea and history of navigation		
授業内容 / Class outline / Con	ship maneuver, ocean obsearvasion, trawl fishing(including measurement), rope work		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	Description about cruising plan Learn about general causion for on board		
キーワード / Key word	Navigation, Charts, Nautical pablications, Navigational equipment, GNSS		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	None ( Prepare papar )		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	General participation situation for trainig (70%) Report (30%)		
受講要件 (履修条件) / Requirements	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Total members are 40 or under</li> <li>・ To be insurance by yourself</li> <li>・ It coast about \ 8,000 (As meal, cleaning, The tour for aquarium, etc)</li> </ul>		
アクセシビリティ / Accessibility	<p>In order to ensure equal educational opportunities for all students, Nagasaki University strives to remove societal barriers that may interfere with academic activities, and to provide reasonable accommodations as necessary and appropriate. If you have any questions or concerns regarding reasonable accommodations or other support in this class, please feel free to talk to the instructor (contact information above), or contact the Student Accessibility Office.</p> <p>Student Accessibility Office contact information ( TEL ) 095-819-2006 ( FAX ) 095-819-2948 ( E-MAIL ) support_ml.nagasaki-u.ac.jp</p>		
備考 ( URL ) / Remarks (URL)	None		
学生へのメッセージ / Message for students			

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/08/07		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170569001101	科目番号 / Subject code	05690011
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 11611_001		
授業科目名 / Subject	全学乗船実習 / Training Cruise for General Students		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	清水 健一 / Shimizu Kenichi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	清水 健一 / Shimizu Kenichi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	清水 健一 / Shimizu Kenichi		
科目分類 / Class type	総合科学科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room			
対象学生 (クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kshimizu nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	水産学部本館3階 (A-94)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2805		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木・金の午後3時以降		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	教養モジュール科目の「食の安全と持続的な海洋食料資源の利用 (人から見た水産業)」で学んだ内容を、より身近な問題として実践的な視点で捉えるため、附属練習船長崎丸に乗船して航海を体験する。これらの体験により、海洋環境や海洋生態系、あるいはそれらと人間の営みを肌で感じ、より深く理解すると共に、異分野の学生が船内生活を通して、通常のキャンパスライフでは困難なコミュニケーション能力、多角的視点、協調性などを修養する。		
授業到達目標/Goal	海洋および船舶に慣れ、親しみ、航海・運用術、海洋観測の基礎的実習及び海・船・人間の関係について関わりを習得。また、船内での団体生活の体験により、協調性・寛容性を習得する。		
授業方法 (学習指導法) /Method	乗船実習中に操船 (舵を握り船を走らす)、海洋観測、トロール操業 (魚の分類、魚体測定)、魚類の加工、ロープの結び方等の演習を行う。また、一時上陸して、水族館、魚市場等の見学を行う。		
授業内容/Class outline/Con	<p>実習 1日目 乗船 船内ガイダンス (船内設備、注意事項等の説明) 海洋観測、トロール操業、非常配置表等の説明、日没後プランクトン採集</p> <p>2日目 天候・海況により、～ のいずれかを実施 海洋観測、トロール操業、漁獲物調査、ロープ結索練習 (於 東シナ海) 海洋観測、救命艇操練、ロープ結索演習、(於 操練が行える湾) 海洋観測、船の位置測定練習、ロープ結索演習、(於 位置測定が行える湾)</p> <p>3日目 入港、陸上水産施設 (水族館等) の見学 4日目 陸上水産施設 (魚市場等) の見学、出港 魚類の加工 (干し物等の作成) 5日目 下船時のガイダンス (予定、注意事項等の説明) 下船</p> <p>( ) 天候・海況によっては、実習の内容を大きく変更することがある。</p>		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	<p>事前講義 実習の目的・概要・船内注意事項・見学施設等についての</p> <p>事前講義 船、海洋観測、トロール操業等に関する基礎知識</p> <p>事後講義 実習の総括、レポート課題等の説明等</p> <p>( ) 事前・事後講義 (於 文教キャンパス) および実習の日程は、別途通知する。</p>		
キーワード/Key word	練習船・海洋実習・海洋観測		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	事前ガイダンス、船内ガイダンスの際に資料を配付する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	<p>実習への取り組み状況 70%</p> <p>レポート 30%</p>		
受講要件 (履修条件) /Requirements	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受講定員は40名 (希望多数の場合は、抽選により受講者を決定する)</li> <li>・受講者は、必ず傷害保険に加入すること。</li> <li>・受講にかかる費用として食費 (4日分) および陸上関連施設利用料 計8,000円程度が別途必要</li> </ul>		
アクセシビリティ/Accessibility	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp</p>		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	洋上での貴重な体験をできるのでぜひ積極的に参加して欲しい		

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/24		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170569061401	科目番号 / Subject code	05690614
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 12661_002		
授業科目名 / Subject	オランダの文化 / Dutch Culture		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山下 龍 / Yamashita Noboru		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	山下 龍 / Yamashita Noboru		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	山下 龍 / Yamashita Noboru		
科目分類 / Class type	総合科学科目, 自由選択科目, 総合科学科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟15 / RoomB-15		
対象学生(クラス等) / Object Student	全学生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	noboru.y.nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Laboratory	言語教育研究センター B-112		
担当教員TEL / Tel	095-819-2080		
担当教員オフィスアワー / Office hours	授業の前後		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	日本と北ヨーロッパの中心国の一つとして発展してきたオランダとの交流が江戸初期に長崎から始まり、その交流が現在まで400年以上続いています。この講義ではオランダの文化と歴史を中心に、北ヨーロッパの歴史的発展、または、長崎と深い関わりのある日蘭交流について、基本的な知識の修得と文化理解を目的とします。		
授業到達目標 / Goal	オランダ・北ヨーロッパの文化と歴史、または、日蘭交流についての基本的な知識を修得します。		
授業方法(学習指導法) / Method	講義形式 この講義の為に作成した資料や視聴覚教材(powerpoint)を利用して、より分かりやすく、オランダの文化と歴史を紹介します。		
授業内容 / Class outline / Con	ローマ時代前から現在までの歴史上の出来事を説明しながら、オランダの国とその発展を理解させます。オランダを知ることで北ヨーロッパの文化の発展も理解することができます。		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	オランダの歴史		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	教材 : プリント教材 毎回配布します。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	成績評価の方法・基準等 成績評価は、定期試験、または、レポート70%、授業中の提出物30%で行います		
受講要件(履修条件) / Requirements	全回出席が原則		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	講義の内容をしっかりと聞き、渡された教材を予習・復習すれば、オランダや西欧の文化と歴史を広く、楽しく理解できるようになります。		

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/26		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170569061501	科目番号 / Subject code	05690615
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 12711_002		
授業科目名 / Subject	オランダの言語 / Dutch Language		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山下 龍 / Yamashita Noboru		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	山下 龍 / Yamashita Noboru		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	山下 龍 / Yamashita Noboru		
科目分類 / Class type	総合科学科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟15 / RoomB-15		
対象学生 (クラス等) / Object Student	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	noboruy nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	言語教育研究センター B-112		
担当教員TEL/Tel	095-819-2080		
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	初級レベルのオランダ語入門講義です。授業には、視聴覚教材も使用し、より分かりやすく、より楽しくオランダ語を学習することで、オランダ文化への興味を喚起させることをねらいとしています。		
授業到達目標/Goal	初級レベルのオランダ語ができるようにします。資料に示された約600語のオランダ語を修得します。		
授業方法 (学習指導法) /Method	ネイティブのオランダ人による日本語での講義。この講義の為に作成した資料を活用し、聞く・話す・書くことを通して聴解・読解・文法を学びます。授業中に学習したことを家庭でCD-ROMを使用して復習してもらいます。		
授業内容/Class outline/Con	授業では、資料の第1課 自己紹介から始めます。家庭でCD-ROMを使いながら復習してもらいます。基本的な文法を会話の中に取り入れ、学生に会話をしながら自然に文法を身に付けます。指示された範囲や内容を復習して授業に参加してください。講義での演習とCD-ROMでの復習を通してオランダ語のリズムや音も学びます。また、この資料を用いて、簡単な文を書いてもらい、文法の練習も行います。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	オランダ語、オランダ語入門		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教材プリント配布 CD-ROM 100円		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	教材 : プリント教材 毎回配布します。成績評価の方法・基準等 成績評価は、定期試験70%、授業中の発表と提出物30%で行います。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	全回出席が原則。CD-ROMは必ず購入すること。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	オランダ語という新しい言語を勉強する不安もあると思いますが、15回の講義でオランダ語の基本をしっかりと、楽しく教えますので、是非挑戦してみてください。		

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	土 / Sat 1, 土 / Sat 2, 土 / Sat 3, 土 / Sat 4, 土 / Sat 5, 日 / Sun 1, 日 / Sun 2, 日 / Sun 3, 日 / Sun 4, 日 / Sun 5
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/02/09		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170588000101	科目番号 / Subject code	05880001
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 11111_006		
授業科目名 / Subject	特別活動論 / Theory of Educational Special Activity		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	柳田 泰典 / Yanagida Yasunori, 北浦 剛資 / Tsuyoshi Kitaura		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	柳田 泰典 / Yanagida Yasunori		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	柳田 泰典 / Yanagida Yasunori, 北浦 剛資 / Tsuyoshi Kitaura		
科目分類 / Class type	自由選択科目, 教職に関する科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room			
対象学生 (クラス等) / Object Student	1年、2年、3年、4年		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address			
担当教員研究室 / Laboratory	柳田泰典 (非常勤)		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours			
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	<p>学習指導要領の包括的理解と教育体験事例の分析によって教育実践力の高度化をめざす。          高等学校学習指導要領(特別活動)の包括的な理解          ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事の基本的な性格と教育的意義          ? 4つのユニット: 「ほめる-叱る」ユニット、45(50)分授業ユニット、トラブルユニット、学級生活課題・行事ユニットの分析とグループ討論。</p>		
授業到達目標 / Goal	<p>特別活動(ホームルーム活動・生徒会活動・学校行事)の課題を明確にし、指導内容を構想することができる。          4つのユニットの学級指導メッセージの原理と課題について理解することができる。          ? 高等学校学習指導要領を包括的に理解することができる。</p>		
授業方法 (学習指導法) / Method	講義及びグループ討論によって行う。		
授業内容 / Class outline / Con	<p>第1回 特別活動とは(映画「チェスト」から考える)          第2回 教育課程と特別活動(映画「チェスト」から考える)          第3回 ホームルーム活動の目標(高等学校学習指導要領から考える)          第4回 ホームルーム活動の基本的な性格と教育的意義(高等学校学習指導要領から考える)          第5回 生徒会活動の目標(高等学校学習指導要領から考える)          第6回 生徒会活動の基本的な性格と教育的意義(高等学校学習指導要領から考える)          第7回 学校行事の目標(高等学校学習指導要領から考える)          第8回 学校行事の基本的な性格と教育的意義(高等学校学習指導要領から考える)          第9回 「ほめる-叱る」ユニットの検討(あなたメッセージ)          第10回 「ほめる-叱る」ユニットの検討(わたしメッセージ)          第11回 45(50)分授業ユニットの検討(IRE構造・授業デザイン)          第12回 トラブルユニットの検討(ごめんね完了型・Win-Win型)          第13回 学級生活課題・行事ユニットの検討(掃除・合唱コンクールなど)          第14回 高等学校学習指導要領の包括的理解1(目標と内容を中心に)          第15回 高等学校学習指導要領の包括的理解2(指導計画を中心に)          第16回 まとめ</p>		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	文部科学省『高等学校学習指導要領』東山書房 2011年		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	<p>話す・書く・調べる等、発表成果評価 30%          課題解決能力、グループでの協議・協働姿勢 30%          ?最終レポート 40%</p>		
受講要件 (履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ / Accessibility	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。          アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先          (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948          (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp</p>		
備考 (URL) / Remarks (URL)			





学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	土 / Sat 1, 土 / Sat 2, 土 / Sat 3, 土 / Sat 4, 日 / Sun 1, 日 / Sun 2, 日 / Sun 3, 日 / Sun 4
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/02/10		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170588000401	科目番号 / Subject code	05880004
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 11161_006		
授業科目名 / Subject	教育方法・技術論 / Methodology and Techniques Of Education		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	若菜 啓孝 / Wakana Hirotaka		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	若菜 啓孝 / Wakana Hirotaka		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	若菜 啓孝 / Wakana Hirotaka, 藤井 佑介 / Yusuke Fujii		
科目分類 / Class type	自由選択科目, 教職に関する科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room			
対象学生 (クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	wknhrtk nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Laboratory			
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours			
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	学習者の立場に立った教材開発のあり方、教材提示の方法、授業実践と教育方法などについて学習する。特に、コンピュータ等の教育メディアの利用、情報通信技術の利用について、最近の動向を踏まえた事例の紹介などを行う。また、実際に教育コンテンツを作成することで教育に必要な情報技術を修得し、ICT活用指導力を身につける。		
授業到達目標 / Goal	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教育工学的な視点から、授業を構成する要素を列挙でき、また、各要素の特徴を理論的な背景を踏まえて説明できる。</li> <li>2. 教材分析や授業設計の手続きを説明できる。</li> <li>3. 授業の設計、実施、評価、改善に慣れ親しむ。</li> </ol>		
授業方法 (学習指導法) / Method	講義および演習を行う。		
授業内容 / Class outline / Con	教育方法の基礎的理解、授業の設計、授業構想の検討について考え、実際の教材研究の方法や学習指導案の作成を行う。特に、現在注目されている「協同学習の方法」「ICTを利用した教育の方法」を加味した、模擬授業の実施やその省察、ビデオ視聴とグループディスカッションを行う。		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前にLACS上に資料を掲載し、予め読んでくること		
キーワード / Key word	授業設計、教材開発、ICT		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book			
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	課題60%、期末試験40%の配分で評価し、総合点60点以上を合格とする。		
受講要件 (履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/08/07		
必修選択 / Required/Elective class	選択, 自由 / elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0, 0.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170588000701	科目番号 / Subject code	05880007
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 11211_006		
授業科目名 / Subject	生徒・進路指導論 / Academic and Career Guidance		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	池田 浩 / Ikeda Ko, 小原 達朗 / Obara Taturou, 北浦 剛資 / Tsuyoshi Kitaura		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	池田 浩 / Ikeda Ko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	池田 浩 / Ikeda Ko, 小原 達朗 / Obara Taturou, 北浦 剛資 / Tsuyoshi Kitaura		
科目分類 / Class type	自由選択科目, 教職に関する科目, 査定外		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room			
対象学生 (クラス等) / Object Student	1年、2年、3年、4年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	池田 浩 : nagasaki-u.ac.jp 北浦剛資 : kita1120 nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	池田 浩 : 教育学部 北浦剛資 : 教育学部525研究室		
担当教員TEL/Tel	池田 浩 : 095-819- 北浦剛資 : 095-819-2294		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時 (要メール連絡)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	一人ひとりの生徒の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高めることを目指して行われる教育活動が生徒指導である。このような生徒指導の目的や意義、課題を理解するとともに、目的達成のための技法の習得や資質の向上をねらいとする。 生徒指導や進路指導の理念や意義、生徒が抱える諸課題等についての理解を深めるとともに、実践的な指導力の基礎を主体的に身につけさせるために、以下の計画で学習を進める。		
授業到達目標/Goal	生徒指導や進路指導の理念や技法、生徒の支援の在り方等について理解するとともに、実践的指導力を身につける。		
授業方法 (学習指導法) /Method	生徒・進路指導の理念や意義について講義、事例を踏まえた協議、プレゼンテーション		
授業内容/Class outline/Con			
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	実践的生徒指導力 児童生徒理解 キャリア教育		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	『生徒指導提要』(文部科学省)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	演習成果資料・レポート(70%) 授業及び議論への参画態度(30%)		
受講要件 (履修条件) /Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	生徒指導の意義と原理〔担当：北浦〕		
第2回	生徒指導と教育課程(目的、内容、方法等)〔担当：北浦〕		
第3回	生徒理解の方法と技術(教育相談等)〔担当：北浦〕		
第4回	部活動の意義とその在り方〔担当：北浦〕		
第5回	問題行動と生徒の心理〔担当：小原〕		
第6回	生徒指導の実際(全体指導と個別の課題を抱える生徒の指導)〔担当：小原〕		

第7回	生徒指導の実際（演習：事例研究 問題行動の早期発見〔担当：北浦〕）
第8回	生徒指導の実際（演習：事例研究 いじめ、不登校への対応）〔担当：北浦〕
第9回	生徒指導と法〔担当：北浦〕
第10回	家庭・地域・関係機関との連携〔担当：北浦〕
第11回	進路指導の理念と意義〔担当：江頭〕
第12回	進路指導と教育課程〔担当：江頭〕
第13回	キャリア教育の推進〔担当：江頭〕
第14回	進路実現に向けた指導の実際〔担当：江頭〕
第15回	進路実現に向けた指導の実際〔担当：江頭〕
第16回	

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2017/11/22		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170588005201	科目番号 / Subject code	05880052
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 12211_002		
授業科目名 / Subject	ジェンダーと法 / Gender and Law		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	植木 とみ子 / Tomiko Ueki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	植木 とみ子 / Tomiko Ueki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	植木 とみ子 / Tomiko Ueki		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生 (クラス等) / Object Student	全学生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	tuterrace@kzh.biglobe.ne.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL / Tel	092-521-6851		
担当教員オフィスアワー / Office hours	eメールにて随時受け付けます		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	日本国憲法が、いかに日本国民にとって大切なものであるか、私たちの権利も義務も基本的にこの日本国憲法によって守られていること、そしてこの日本国憲法を守るのもまた私たち自身であることの自覚を持っていただくことを目的としています		
授業到達目標 / Goal	日本国を支える一員として、日本国憲法の全体を理解し、大切な条文は諳んじていただくことを期待します		
授業方法 (学習指導法) / Method	必要最小の限度で講義形式で憲法の概要を説明しますが、基本的には実際に争われた裁判の事例を検討することにより、憲法がいかに市民生活に身近でたいせつなものであるかを、実感していただけるような授業を展開したいと考えています。そのため授業の3回目あたりから、裁判形式でみなさんの積極的なディベートを期待しています		
授業内容 / Class outline / Con	まず、日本国憲法の重要性について、つぎに日本国憲法の基本的理念である国民主権と平和主義について、講義します。基本的人権については、包括的基本権と法の下での平等、さらに各種の自由権や社会権について、できるだけ身近な判例を数多く取り上げ、検討して参ります。統治機構については、その仕組みを理解し、健全な批判精神をもっていただくために、日々の社会事象を取り上げたいと考えています。 日本国憲法は、関係する条文を毎回確認していきますので、どのような形でも結構ですから、必ず入手して下さい		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	日本国憲法の条文を各自用意して下さい (103条しかありませんから、コピーしてもらいたくはありません) 裁判例についてはこちらで用意します		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	判例や条文に関する試験を実施します		
受講要件 (履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	常に社会の出来事をチェックし、自分との関係を考えること		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	法とはなにか、憲法と他の法律との関係		
第2回	国民主権 (大日本帝国憲法と日本国憲法)		
第3回	平和主義 (憲法9条、沖縄)		
第4回	幸福追求権 (プライバシーの権利、自己決定権)		
第5回	法の下での平等 (男女は平等か、尊属殺について)		
第6回	内心の自由 (信教の自由、政教分離、学問の自由と大学の自治)		

第7回	表現の自由（ポルノ・有害図書、報道の自由と限界、教科書検定）
第8回	経済的自由（職業選択の自由と営業の規制、私有財産の保障とその制限）
第9回	人身の自由（適正手続きとは、死刑制度について）
第10回	社会権（生存権と生活保護、教育権は誰のもの、労働基本権）
第11回	国務請求権と参政権 基本的人権の限界（公務員、外国人、私的関係）
第12回	立法（国会の二院制は必要か、一票の重みの格差）
第13回	行政（議員内閣制、行政の肥大化）
第14回	司法（裁判所の組織、裁判員制度）
第15回	地方自治（地方自治の実態、これからの地方自治のあり方） 憲法の保障（憲法改正に関する諸問題）
第16回	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 3ク ォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2017/11/22		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170588005301	科目番号 / Subject code	05880053
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 12261_002		
授業科目名 / Subject	芸術と文化 / Arts and Culture		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	堀内 伊吹 / Horiuti Ibuki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	堀内 伊吹 / Horiuti Ibuki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	堀内 伊吹 / Horiuti Ibuki		
科目分類 / Class type	自由選択科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生 (クラス等) / Object Student	主対象、1年-4年		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	horiuchi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	教育学部音楽棟 2階 2		
担当教員TEL / Tel	095 \ 819-2343		
担当教員オフィスアワー / Office hours	火曜日 6時間目		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	長崎の芸術文化活動の実態を概観し、実際に文化施設に出かけ、芸術鑑賞を行う。		
授業到達目標 / Goal	音楽文化を取り巻く状況が理解でき、実際の演奏会を鑑賞し、生の演奏に触れる喜びを感じ取ることが出来る。		
授業方法 (学習指導法) / Method	視聴覚機器を活用して、またその分野のゲストをお迎えしての講義と文化施設に出かけての演習。		
授業内容 / Class outline / Con			
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	音楽文化、文化ホール、自主文化事業、音楽祭		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	その都度指示します		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	推薦する文化イベントから2つを選択し、自分の意見を交えた芸術体験レポートを提出。レポートによる評価を行う。		
受講要件 (履修条件) / Requirements	心を静めて熱心に芸術鑑賞ができること		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り 組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	外部講師の先生方のご都合により、授業内容が変更になる場合があります。授業開始時に、スケジュールを示します。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	この授業の進め方、ガイダンス		
第2回	「長崎の文化活動について」		
第3回	「長崎の文化とマスメディア報道について」 ゲストスピーカー 河野英雄前ブリックホール館長を迎えて		
第4回	「文化ホールに出かけ、実際にコンサートを鑑賞しよう」		
第5回	「音楽文化活動としての自主文化公演」		
第6回	「舞台芸術の鑑賞について」		
第7回	「文化イベント・コンサートのつくり方」		
第8回	「文化施設に出かけ、実際にコンサートを鑑賞しよう」		
第9回	「美術と音楽」ゲストスピーカー、米田館長をお迎えして		

第10回	「美術と音楽、そして芸術」
第11回	「音楽芸術に親しむ方法」
第12回	「季節をめぐるの音楽」
第13回	「文化ホールに出かけ、実際にコンサートを鑑賞しよう」
第14回	「長崎の音楽活動、その行方」
第15回	「人生の友としての舞台芸術」
第16回	(予備)

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/05/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170588005701	科目番号 / Subject code	05880057
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 22319_032		
授業科目名 / Subject	上級外国語(フランス語) / Advanced French		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟12 / RoomA-12		
対象学生(クラス等) / Object Student	全学		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	eohashi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	環境科学部棟 1階(123-2)		
担当教員TEL / Tel	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー / Office hours	火曜日 12:00?12:50 水曜日 12:00?12:50 木曜日 10:30?12:00		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	フランス語のコミュニケーションの実践力をさらに身につけるための授業です。自分自身の言葉で明確に考えを表現し、ヨーロッパ共通言語参照枠のA2レベルに相当する授業となります。		
授業到達目標 / Goal	CALL教室やIpadを使用して、復習をしながら、さらに完璧な会話力を身につけることを目標とします。		
授業方法(学習指導法) / Method	教科書を使用しながらフランス語でコミュニケーションをとります。基本的には皆さんの希望を聞きながら授業をみんなで作り上げます。 希望があれば、3人程度のグループに分かれて、Ipadを使用し、シナリオを作り、それをビデオにとります。		
授業内容 / Class outline / Con	授業内容(概要)		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	上級フランス語		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	コピーを渡します。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	発表50%、課題25%、授業態度25%を総合的に判断する。		
受講要件(履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	皆さんの興味・関心があることを教えてください。それらを取り入れながら授業していきます。時間割では水曜の6限になっていますが、受講希望者の意見を聞いて、時間割を変えます。受講希望者で水曜の6限に来れない場合は、eohashi@nagasaki-u.ac.jp に受講可能な曜日と時間をメールしてください。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Ipadを使って、発音を調べよう。		
第2回	Dragon dictationを使用して、発音を練習してみよう。		



第3回	「?していたものだった」を学ぶ 1) サッカーをしていた 2) 漫画をよんでいた 3) 塾に行っていた
第4回	「未来形」を学ぶ 1) 天気予報を言ってみる 2) 1年の予定を言う 3) ペアレッスン
第5回	「関係代名詞」を学ぶ 1) 二つの文をひとつにする 2) チャットをしよう 3) シャンソンの単語を聞き取ろう
第6回	友達を映画にさそう会話を考えよう。
第7回	パワーポイントで自分の出身県を紹介しよう
第8回	発表
第9回	TV5 (フランスのテレビ)を見ながら、買い物、レストランでの注文を実践しよう(1)
第10回	TV5を見ながら聞き取りをしてみよう
第11回	絵葉書を書いてみよう
第12回	友達とレストランに行く会話を考えよう。
第13回	グループワーク(1)シナリオを作ってみる
第14回	グループワーク(2)シナリオを作ってみる
第15回	グループワーク(3)Ipadでビデオで撮影しよう
第16回	発表

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 6, 火 / Tue 6
開講期間 / Class period	2017/06/05 ~ 2017/08/02		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170588005801	科目番号 / Subject code	05880058
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 22419_032		
授業科目名 / Subject	上級外国語(中国語) / Advanced Chinese		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	楊 曉安 / Yang Xiaolan		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	楊 曉安 / Yang Xiaolan		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	楊 曉安 / Yang Xiaolan		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟26 / RoomC-26		
対象学生(クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	xiaoan nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	環境科学部 1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2166		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日の6校時		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	本講は学生が2年次までに習得した中国語基礎コミュニケーション能力の向上とより高度な表現力の養成をめざす。「読む・書く・聴く・話す」の四能力のうち、特に「聞く・話す」に重点を置きながら、標準的な日常会話ができる語学力を習得させる。		
授業到達目標/Goal	テキストをもとに、日常生活によく使われる表現を用いて基本的な文法を学び、標準的な日常会話ができるようにする。		
授業方法(学習指導法)/Method	各課はテーマを設定し、その会話の場面に応じた語彙?文法表現などを導入した上で、ペアを組ませて会話練習を行い、現在の中国で実際に使われている口語の生き生きとした表現を学ぶ。コミュニケーションの能力をバランスよく習得し、「聴く、話す」能力が向上するように努める。		
授業内容/Class outline/Con	語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。毎回の授業ではテキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	プリント配布		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	期末テスト(60%)、口頭発表・課題(30%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
受講要件(履修条件)/Requirements	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	第1課 自己紹介		
第2回	第2課 電話をかける		
第3回	第3課 道を尋ねる		
第4回	第4課 買い物		
第5回	第5課 銀行で		
第6回	第6課 郵便局で		
第7回	第1課~第6課のまとめ		
第8回	第7課 病院で		

第9回	第8課 食事
第10回	第9課 宿泊
第11回	第10課 交通
第12回	第11課 旅行
第13回	第12課 アルバイト
第14回	第7課～第12課のまとめ
第15回	総合復習
第16回	期末試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/05/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170588006601	科目番号 / Subject code	05880066
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	自分のキャリアを考える講座 ~ 男女共同参画とダイバーシティの視点から ~ / Think Your Own Career - From Viewpoint of Gender Equality and Diversity -		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	伊東 昌子 / Ito Masako, 大石 和代 / Ooishi Kazuyo, 南 貴子 / Minami Takako, 藤井 直子 / Fujii Naoko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	伊東 昌子 / Ito Masako		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	伊東 昌子 / Ito Masako, 大石 和代 / Ooishi Kazuyo, 南 貴子 / Minami Takako, 藤井 直子 / Fujii Naoko		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13, 教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生 (クラス等) / Object Student	1st and 2nd graders		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	masako@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	Center for Diversity and Inclusion		
担当教員TEL / Tel	095-819-2383		
担当教員オフィスアワー / Office hours	8:30-12:00, 13:00-17:30		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	Through gender equality, work-life balance, diversity, we will use it to form a career as a member of society.		
授業到達目標 / Goal	To understand yourself, to know what you want to do, to know the person you want to become. Understand the meaning of work-life balance, diversity and be able to relate it to your future career formation		
授業方法 (学習指導法) / Method	Lecture, group work, practical training		
授業内容 / Class outline/Con	Described separately		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	Instructions as necessary		
キーワード / Key word	Diversity, work-life balance, career formation		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	Distribute materials as necessary		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	Reports and presentations (60%), attendance (40%), In presentation, group chosen tasks and make a presentation using PowerPoint.		
受講要件 (履修条件) / Requirements	Nothing in particular		
アクセシビリティ / Accessibility	In order to ensure equal educational opportunities for all students, Nagasaki University strives to remove societal barriers that may interfere with academic activities, and to provide reasonable accommodations as necessary and appropriate. If you have any questions or concerns regarding reasonable accommodations or other support in this class, please feel free to talk to the instructor (contact information above), or contact the Student Accessibility Office. Student Accessibility Office contact information (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks(URL)	<a href="http://www.cdi.nagasaki-u.ac.jp">http://www.cdi.nagasaki-u.ac.jp</a> , <a href="http://nagasaki-ajisai.jp">http://nagasaki-ajisai.jp</a>		
学生へのメッセージ / Message for students	Masako Ito Masako, Center for Diversity and Inclusion, Nagasaki University is in charge of this lecture. After graduating from Nagasaki University School of Medicine, I worked as a medical doctor at Nagasaki University Hospital and now I work for Center for Diversity and Inclusion. Diversity means "to accept and cherish individual ideas and values". Consider about careers of your life and work, find what you want to be, think about the importance of respecting other people's thinking and values in social life, together with the synergistic effect of life and work together. I would like to make meaningful lectures for everyone who is going on.		

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 1ク ォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/05/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170588006601	科目番号 / Subject code	05880066
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	自分のキャリアを考える講座 ~ 男女共同参画とダイバーシティの視点から ~ / Think Your Own Career - From Viewpoint of Gender Equality and Diversity -		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	伊東 昌子 / Ito Masako, 大石 和代 / Ooishi Kazuyo, 南 貴子 / Minami Takako, 藤井 直子 / Fujii Naoko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	伊東 昌子 / Ito Masako		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	伊東 昌子 / Ito Masako, 大石 和代 / Ooishi Kazuyo, 南 貴子 / Minami Takako, 藤井 直子 / Fujii Naoko		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13, 教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生 (クラス等) / Object Student	1年生、2年生 / 1st and 2nd graders		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	masako@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	ダイバーシティ推進センター / Center for Diversity and Inclusion		
担当教員TEL / Tel	095-819-2383		
担当教員オフィスアワー / Office hours	8時30分?12時、13時00分?17時30分 / 8:30-12:00, 13:00-17:30		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	男女共同参画・ワークライフバランス・ダイバーシティを通して、社会の一員としてのキャリア形成に役立てる / Through gender equality, work-life balance, diversity, we will use it to form a career as a member of society.		
授業到達目標 / Goal	自分をよく理解すること、自分のやりたいこと、なりたい人物像を知ること。ワークライフバランス・ダイバーシティ(多様性)の意味を理解し、自分の将来のキャリア形成に関連付けることができるようになる / To understand yourself, to know what you want to do, to know the person you want to become. Understand the meaning of work-life balance, diversity and be able to relate it to your future career formation		
授業方法 (学習指導法) / Method	講義、グループワーク、実習 / Lecture, group work, practical training		
授業内容 / Class outline / Con	別途記載 / Described separately		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	必要に応じて指示 / Instructions as necessary		
キーワード / Key word	ダイバーシティ(多様性)、ワークライフバランス、キャリア形成 / Diversity, work-life balance, career formation		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	必要に応じて資料を配布する / Distribute materials as necessary.		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	レポートとプレゼンテーション(60%)、出席(40%)。プレゼンテーションは、グループで選んだ課題をグループでまとめて、パワーポイントで発表してもらいます / Reports and presentations (60%), attendance (40%), In presentation, group chosen tasks and make a presentation using PowerPoint.		
受講要件(履修条件) / Requirements	特になし / Nothing in particular		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)	<a href="http://www.cdi.nagasaki-u.ac.jp">http://www.cdi.nagasaki-u.ac.jp</a> 、 <a href="http://nagasaki-ajisai.jp">http://nagasaki-ajisai.jp</a>		
学生へのメッセージ / Message for students	この講義を担当するのは、長崎大学ダイバーシティ推進センターの伊東昌子です。長崎大学医学部を卒業して、長崎大学病院で医師として働き、今は同大学ダイバーシティ推進センターに勤務しています。ダイバーシティとは「多様性」という意味で、ダイバーシティ推進とは、さまざまな考え方や価値観を受け入れて、個人が個人としてイキイキと過ごし、自分の「やってみたいこと」「仕事にしたいこと」「こうやって生きたい」と思っていることを実現できるようにすることです。自分の人生と仕事のキャリアを考え、なりたい自分を見つける、また社会生活において他の人の考え方や価値観を尊重することの重要性や生活と仕事の相乗効果と一緒に考え、これから社会人になっていくみなさんために有意義な講義にしていきたいと思えます。 / Masako Ito Masako, Center for Diversity and Inclusion, Nagasaki University is in charge of this lecture. After graduating from Nagasaki University School of Medicine, I worked as a medical doctor at Nagasaki University Hospital and now I work for Center for Diversity and Inclusion. Diversity means "to accept and cherish individual ideas and values". Consider about careers of your life and work, find what you want to be, think about the importance of respecting other people's thinking and values ??in social life, together with the synergistic effect of life and work together. I would like to make meaningful lectures for everyone who is going on.		

授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 (4月12日)	自分のキャリアを自分で考える：ワークライフバランスとダイバーシティ (日時・担当 4月12日伊東)
第2回 (4月12日)	自分のキャリアを自分で考える：ワークライフバランスとダイバーシティ：ワーク (4月12日伊東)
第3回 (4月19日)	多様なライフスタイルにおけるワークライフバランス (4月19日伊東)
第4回 (4月19日)	多様なライフスタイルにおけるワークライフバランス：ワーク (4月19日伊東)
第5回 (4月26日)	潜在的な性別役割分担を考える (4月26日伊東)
第6回 (4月26日)	女性活躍推進と男性の意識・女性の意識 (4月26日伊東)
第7回 (5月10日)	傾聴を学ぼう(ケアラーサポーター育成研修として実施) (5月10日学外講師)
第8回 (5月10日)	傾聴を学ぼう(ケアラーサポーター育成研修として実施) (5月10日学外講師)
第9回 (5月17日)	「働く自分を取り巻く社会状況と自分を守る法?労働法を知る?」 (5月17日藤井先生)
第10回 (5月17日)	PBL：柔軟な働き方・柔軟な生き方について考える? (5月17日伊東)
第11回 (5月24日)	妊娠・出産・育児を取り巻く社会環境 (5月24日大石先生)
第12回 (5月24日)	親と子のきずなはどうつくられるか (5月24日大石先生)
第13回 (5月31日)	「キャリア継続のための両立Know-How」 (5月31日南先生)
第14回 (5月31日)	PBL：柔軟な働き方・柔軟な生き方について考える? (5月31日伊東)
第15回 (6月7日)	グループ発表 (6月7日伊東)
第16回 (6月7日)	グループ発表 (6月7日伊東)

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 4ク ォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2017/11/28 ~ 2018/01/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170588006701	科目番号 / Subject code	05880067
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	データの科学 / Data Science		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	吉村 宰 / Yoshimura Osamu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	吉村 宰 / Yoshimura Osamu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	吉村 宰 / Yoshimura Osamu		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生 (クラス等) / Object Student	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	osamu nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	大学教育イノベーションセンター・アドミッション部門		
担当教員TEL/Tel	095-819-2117		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時 (eメールで予約してください)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	この授業は、データに基づく意思決定を行うために必要な、データ収集・整理・表現・分析の基本的な心構えと知識・技能を身につけることを目的とする自由選択科目です。なお取り扱うデータは主として社会科学領域のものとしします。		
授業到達目標/Goal	データ収集・整理・表現・分析の基礎的な知識と技能の修得とデータを通して現象を批判的に吟味する基礎的力を身につける。		
授業方法 (学習指導法) /Method	講義と演習で授業を進めます。演習では資料収集、データの整理と表現、簡単な分析等を行います。授業に関する連絡、資料配布、課題の取り組み、課題提出、毎回の学修の振り返り(授業日誌への記入)等にLACSを積極的に利用します。受講者数次第でグループ活動を取り入れることがあります。統計分析ソフトJMPを利用します。JMPの基本的な操作法は授業中に説明します。		
授業内容/Class outline/Con	次の項目について講義・演習を行う予定です。 ・データの集め方 ・データの整理と表現(記述統計) ・データを読む ・データから推測する(推測統計) ・データに基づいた意思決定を行う。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	標本調査, 母集団, 無作為標本, 平均, 中央値, 最頻値, 分散, 標準偏差, 標準化, 種々のグラフ, クロス表, 散布図, 独立, 共分散, 相関係数, 確率, 確率密度, 確率分布, 母数, 推測統計, 統計的仮説検定, 2乗, 単回帰分析		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	適宜資料等を配布します。テキストは指定しません。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	主として課題, 授業への積極的関与の程度などによって総合的に評価します。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	・第1回目にパソコンを持参している。 ・パソコンの操作に慣れている。(アプリケーションを起動する, ダウンロードしたファイルを任意のフォルダに保存する等) ・エクセル・ワードの基本的な操作法がわかる。 ・このシラバスを読んでいる。 これらの要件をすべて満たしていなければ受講を認めません。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2948 (E-MAIL)support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)	本科目の内容は以下の「統計学の教育課程編成上の参照基準」を参考にしています。2ページ, 3ページをあらかじめ読んでおいてください。 <a href="http://jfssa.jp/ReferenceStandard2.pdf">http://jfssa.jp/ReferenceStandard2.pdf</a>		
学生へのメッセージ/Message for students	メディア・リテラシーを高めましょう。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		

第1回 (11/29)	<p>ガイダンスと準備 (授業の概要説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・記述統計と推測統計</li> <li>・PC環境の整備 (LACSの確認, JMPのインストールとライセンスの更新)</li> <li>・インターネット上のリソースの紹介 (総務省統計局)</li> </ul> <p>データ収集法の種類と特徴 (質問紙調査を中心に)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・データの種類 (質的データ, 量的データ), 尺度</li> <li>・質問紙への回答データの入力 (よくあるミス, ミスの発見)</li> </ul>
第2回 (12/6)	<p>データからグラフを作成し傾向を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作成データ</li> <li>・官公庁データ</li> </ul> <p>データの整理と要約 (JMP入門)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単純集計, クロス集計</li> <li>・平均値・中央値・最頻値, 分散・標準偏差, 標準化</li> <li>・作図</li> </ul>
第3回 (12/13)	<p>2変量の連関 (クロス集計, 2乗値, 散布図, 共分散, 相関係数)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・独立な2変量</li> </ul> <p>データに基づく主張を批判的に吟味する</p>
第4回 (12/20)	<p>推測統計</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・母集団と標本</li> <li>・無作為抽出</li> </ul> <p>サンプリング実験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乱数</li> <li>・母平均の推定値と標準誤差</li> <li>・理論の説明</li> </ul> <p>演習</p>
第5回 (1/10)	<p>確率, 確率変数, 確率分布, 確率密度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・確率分布とは</li> <li>・データに基づく意思決定 (確率的な判断)</li> </ul> <p>演習</p>
第6回 (1/17)	<p>統計的仮説検定 (1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2乗値を用いた検定</li> <li>・2乗値とは</li> <li>・2乗分布</li> <li>・帰無仮説</li> </ul> <p>演習</p>
第7回 (1/24)	<p>統計的仮説検定 (2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・t値を用いた2群の平均値の差の検定</li> <li>・t値とは</li> <li>・t分布</li> </ul> <p>演習</p>
第8回 (1/31)	<p>回帰分析, 重回帰分析</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・従属変数と独立変数 (目的変数と説明変数)</li> <li>・回帰係数, 標準化回帰係数</li> <li>・重相関係数係数, 決定係数</li> </ul> <p>期末課題</p>



学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/26		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170588007001	科目番号 / Subject code	05880070
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	生物の科学 / Biological Sciences		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	高橋 正克 / Takahashi Masakatsu		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	高橋 正克 / Takahashi Masakatsu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	高橋 正克 / Takahashi Masakatsu		
科目分類 / Class type	自由選択科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生(クラス等) / Object Student	全学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	takahasi nagasaki-u.ac.jpまたはshabshab q.vodafone.ne.jp(メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	090-1343-1361		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメール, 電話等でアポイントをとってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	ヒトは, 物言わぬ動物の行動や反応を通じてコミュニケーションを図り, 有用な薬物の開発や危険性の予知など多様な情報を獲得してきた。動物の行動科学を基盤に, ヒトが生きていく上で必要な健康や病気の治療に用いられる医薬品の開発について学び, 動物行動科学の応用性と薬物の有用性, 有害性について一般教養レベルで理解する。		
授業到達目標/Goal	動物の行動や動物実験から何がわかるか説明できる(基盤的知識, 自主的探求) 薬物の適正使用や乱用薬物の有害性について理解する(基盤的知識, 批判的思考) 動物の行動分析を通じて, 薬の開発への経緯を理解する(基盤的知識, 多様性の意義) 動物の行動からヒトの社会科学への展開を説明できる(自主的探求, 自己表現力, 多様性の意義) 動物実験データの基本的な推計学的分析ができ, 信頼性について理解し, 説明できるようになる(基盤的知識, 自己表現力)		
授業方法(学習指導法)/Method	基本的に講義形式で行いますが, できるだけ口頭による質疑応答を取り入れ理解度を探りながら進めます。随時, 授業中に提示する課題の発表なども担保し, 毎回, 自宅学習用課題を課します。1?2回程度, 学習進捗状況を確認するため, 参考試験を行います。必要に応じて, ハンドアウトを配布します。また, パワーポイントなども利用して理解を進めます。		
授業内容/Class outline/Con	動物の行動の基本事項, 動物モデル, 行動機能試験, 医薬品の適正使用と薬物乱用など多様な行動機能を学習し, 行動分析の意義を理解する。動物実験とデータ処理について学び, 動物行動科学の裏づけを学ぶ。  第16回目: 定期試験を行う。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	毎回, その日の学習課題の復習や発展応用力をねらいとした自宅学習用課題を配布し, 学習の完成度を高めます。随時, 提出を求め, 成績評価に組み込みます。		
キーワード/Key word	動物行動科学 動物モデル 乱用薬物 行動分析 行動毒性 推計学		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は用いない。適宜, ハンドアウトを配布する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験(60%), 随時行う講義中の小テスト, レポート(20%)および授業への積極的な参加・貢献度(20%)から総合的に判断して成績評価を行う。		
受講要件(履修条件)/Requirements	原則として全回出席することを単位認定の要件とする。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)	一般教養レベルとして医薬品開発のための動物実験や動物の行動分析を学び, 今後の学習への志向, 態度を涵養する。		
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	授業の進め方 動物の行動(1) 本能行動, 動物実験とその意義		
第2回	動物の行動機能試験(1) 情動系 動物の向精神作用とその動物モデル		

第3回	動物の行動機能試験（2） 情動系 動物と不安，ストレス
第4回	動物の行動機能試験（3） 報償系 動物が教える薬物乱用の怖さ
第5回	動物の行動機能試験（4） 報償系 薬物依存に関する行動分析
第6回	動物の行動機能試験（5） 生体防御系 医薬品の適正使用と薬物依存
第7回	動物の行動機能試験（6） 学習・記憶系 学習・記憶機能試験法
第8回	動物の行動機能試験（7） 学習・記憶系 抗健忘薬・向知性薬
第9回	動物の行動機能試験（8） 学習・記憶系 学習・記憶機能試験の分析法
第10回	動物の行動機能試験（9） 動物の行動毒性から学ぶこと
第11回	動物実験とデータ処理（1） 動物実験で使用される基本的検定法 1
第12回	動物実験とデータ処理（2） 動物実験で使用される基本的検定法 2
第13回	動物実験とデータ処理（3） 動物実験で使用される基本的検定法 3
第14回	動物実験とデータ処理（4） メンデルの実験データを考える
第15回	全授業の総括
第16回	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2017/11/22		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170588007002	科目番号 / Subject code	05880070
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	生物の科学 / Biological Sciences		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	高橋 正克 / Takahashi Masakatsu		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	高橋 正克 / Takahashi Masakatsu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	高橋 正克 / Takahashi Masakatsu		
科目分類 / Class type	自由選択科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生(クラス等) / Object Student	全学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	takahasi@nagasaki-u.ac.jpまたはshabshab@q.vodafone.ne.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	090-1343-1361		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメール, 電話等でアポイントをとってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	ヒトは, 物言わぬ動物の行動や反応を通じてコミュニケーションを図り, 有用な薬物の開発や危険性の予知など多様な情報を獲得してきた。動物の行動科学を基盤に, ヒトが生きていく上で必要な健康や病気の治療に用いられる医薬品の開発について学び, 動物行動科学の応用性と薬物の有用性, 有害性について一般教養レベルで理解する。		
授業到達目標/Goal	動物の行動や動物実験から何がわかるか説明できる(基盤的知識, 自主的探求) 薬物の適正使用や乱用薬物の有害性について理解する(基盤的知識, 批判的思考) 動物の行動分析を通じて, 薬の開発への経緯を理解する(基盤的知識, 多様性の意義) 動物の行動からヒトの社会科学への展開を説明できる(自主的探求, 自己表現力, 多様性の意義) 動物実験データの基本的な推計学的分析ができ, 信頼性について理解し, 説明できるようになる(基盤的知識, 自己表現力)		
授業方法(学習指導法)/Method	基本的に講義形式で行いますが, できるだけ口頭による質疑応答を取り入れ理解度を探りながら進めます。随時, 授業中に提示する課題の発表なども担保し, 毎回, 自宅学習用課題を課します。1?2回程度, 学習進捗状況を確認するため, 参考試験を行います。必要に応じて, ハンドアウトを配布します。また, パワーポイントなども利用して理解を進めます。		
授業内容/Class outline/Con	動物の行動の基本事項, 動物モデル, 行動機能試験, 医薬品の適正使用と薬物乱用など多様な行動機能を学習し, 行動分析の意義を理解する。動物実験とデータ処理について学び, 動物行動科学の裏づけを学ぶ。 第16回目: 定期試験を行う。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	毎回, その日の学習課題の復習や発展応用力をねらいとした自宅学習用課題を配布し, 学習の完成度を高めます。随時, 提出を求め, 成績評価に組み込みます。		
キーワード/Key word	動物行動科学 動物モデル 乱用薬物 行動分析 行動毒性 推計学		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は用いない。適宜, ハンドアウトを配布する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験(60%), 随時行う講義中の小テスト, レポート(20%)および授業への積極的な参加・貢献度(20%)から総合的に判断して成績評価を行う。		
受講要件(履修条件)/Requirements	原則として全出席することを単位認定の要件とする。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)	一般教養レベルとして医薬品開発のための動物実験や動物の行動分析を学び, 今後の学習への志向, 態度を涵養する。		
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	授業の進め方 動物の行動(1) 本能行動, 動物実験とその意義		
第2回	動物の行動機能試験(1) 情動系 動物の向精神作用とその動物モデル		
第3回	動物の行動機能試験(2) 情動系 動物と不安, ストレス		

第4回	動物の行動機能試験（3） 報償系 動物が教える薬物乱用の怖さ
第5回	動物の行動機能試験（4） 報償系 薬物依存に関する行動分析
第6回	動物の行動機能試験（5） 生体防御系 医薬品の適正使用と薬物依存
第7回	動物の行動機能試験（6） 学習・記憶系 学習・記憶機能試験法
第8回	動物の行動機能試験（7） 学習・記憶系 抗健忘薬・向知性薬
第9回	動物の行動機能試験（8） 学習・記憶系 学習・記憶機能試験の分析法
第10回	動物の行動機能試験（9） 動物の行動毒性から学ぶこと
第11回	動物実験とデータ処理（1） 動物実験で使用される基本的検定法 1
第12回	動物実験とデータ処理（2） 動物実験で使用される基本的検定法 2
第13回	動物実験とデータ処理（3） 動物実験で使用される基本的検定法 3
第14回	動物実験とデータ処理（4） メンデルの実験データを考える
第15回	全授業の総括
第16回	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/24		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170588007201	科目番号 / Subject code	05880072
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	ボランティアを通して地域を知る / Discover Your Community Through Volunteer Activity		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	伊東 昌子 / Ito Masako		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	伊東 昌子 / Ito Masako		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	伊東 昌子 / Ito Masako, 永橋 美幸 / Nagahashi Miyuki, 北村 史 / Kitamura Fumito, 井口 茂 / Inokuti Shigeru		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生 (クラス等) / Object Student	1年生、2年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	masako nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	ダイバーシティ推進センター		
担当教員TEL/Tel	095-819-2383		
担当教員オフィスアワー/Office hours	8時30分~12時、13時00分~17時30分(事前にメールにてご連絡ください)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	少子・高齢化社会で生きていくために、高齢者についての理解を深め、介護の現実と介護者支援の必要性を理解する。また、子どもたちの成長過程や親子の絆を学ぶ。講義の中で、実際にボランティアの機会を通して自らも成長し、社会のフィールドにおいて、豊かなコミュニケーション力を育み学びを深める。		
授業到達目標/Goal	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア体験を通して、地域で暮らす高齢者や子どもとその社会について理解する。</li> <li>・介護している人(介護者)の支援について理解する。</li> </ul>		
授業方法(学習指導法)/Method	高齢者支援を実際に行なっている専門家から講義を受けアクティブラーニングを行うとともに、フィールドワークとして、実際にボランティア活動を体験する。		
授業内容/Class outline/Con	別途記載		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	必要に応じて実施する		
キーワード/Key word	高齢者、子ども、支援、ボランティア、地域		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	必要に応じて資料を配布する		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	レポート(40%)、発表(30%)、出席(30%)		
受講要件(履修条件)/Requirements	指定された週末(主に土曜日)にフィールドワーク(ボランティア)に参加できること。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)	注釈: フィールドワークは、主に土曜日に開催します。1回3時間とし計4回分の講義(第7回と第10回、第11回と第12回)への出席・参加として評価します。		
学生へのメッセージ/Message for students	本講義では、少子・高齢社会で生きる若い世代のみならず、高齢者や介護者支援、ボランティアについて一緒に考えます。興味がある方は、是非受講ください。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
10月4日	長寿社会の光と影(井口先生)		
10月11日	高齢者の特性と地域活動(松坂先生)		
10月18日	介護者支援の必要性と高齢社会を理解する(井口先生): 第2回ケアラーサポーター育成研修として実施		
10月25日	こどもの心と身体の発育・発達(永橋先生)		
11月1日	こどもの心と身体の発育・発達(永橋先生)		
11月8日	ボランティアのためのコミュニケーションのとり方を学ぶ(北村先生)		
11月15日	フィールドワーク(井口先生)		
11月22日	介護している人の声を聴く(井口先生): 第3回ケアラーサポーター育成研修として実施		
11月29日	フィールドワークに向けたオリエンテーションとグループワーク(井口先生)		

12月6日	フィールドワーク（井口先生）
12月13日	フィールドワーク（井口先生）
12月20日	フィールドワーク（井口先生）
1月10日	認知症サポーター養成講座（井口先生）：第4回ケアラーサポーター育成研修として実施
1月17日	仕事を辞めずに育児・介護をする大切さを学ぶ（伊東）
1月24日	ディスカッション、プレゼンテーション、総評（井口先生）
1月31日	予備日（井口先生）

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/26		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170588010001	科目番号 / Subject code	05880100
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 11411_001		
授業科目名 / Subject	平成長崎塾 / Nagasaki and Its Culture Historical Perspectives		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	高橋 正克 / Takahashi Masakatsu, 太田 久 / Oota Hisashi, 田中 隆 / Tanaka Takashi, 冨塚明 / Tomiduka Akira		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	高橋 正克 / Takahashi Masakatsu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	高橋 正克 / Takahashi Masakatsu, 太田 久 / Oota Hisashi, 田中 隆 / Tanaka Takashi, 冨塚明 / Tomiduka Akira		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生(クラス等) / Object Student	全学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	takahasi nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	090-1343-1361		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメール、電話等でアポイントをとってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	<p>笠を負って長崎に游学する...長崎は昔から町全体が大学だった、ともいわれています。ならば長崎に游学した勝海舟、坂本龍馬、高杉晋作、福澤諭吉は長大OBといって自慢していい。こんな由緒ある長崎大学あるいは長崎の歴史は？文化は？産業は？地域が誇るものは？原爆被災や復興は？...この講義では、そのルーツから現在までの長崎大学の歴史と、そしてこの長崎大学を育み、かつ大学とともに歩んできた長崎の街やを多面的な切り口から学び知ることによって、長崎大学で学び、長崎の街で学生生活を送る諸君が、本学や長崎を誇りに思い(愛校精神)、将来、地域の活性化や社会貢献の意欲を持ってもらいます。また、多面的なものの見方、考え方があることを知り、長崎のより深い知識、理解を発展させる学習意欲を身につけてもらうこともねらいとします。</p>		
授業到達目標/Goal	長崎大学や長崎の歴史、文化、文学、産業の概要が説明できるようになることです。多面的なものの見方、考え方があることを理解することです。歴史、文化、文学、産業の長崎独自性について意見を展開できることを目指します。長崎のより深い知識、理解を発展させる学習意欲を身に付けることです。		
授業方法(学習指導法)/Method	基本的に講義形式で行いますが、できるだけ口頭による質疑応答を取り入れ理解度を探りながら進めます。必要に応じて、ハンドアウトを配布します。また、パワーポイントなども利用して理解を進めます。		
授業内容/Class outline/Con	長崎大学や長崎の歴史、文化、外交、文学、地域の特性などについて、それぞれ専門の担当教員・講師が、ユニーク、かつ多面的な切り口で講義します。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	長崎大学 長崎 長崎学 シーボルト ポンベ 歴史 文化 産業 世界遺産 外交 原爆被害 軍事基地		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は用いない。適宜、ハンドアウトを配布します。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	毎回の積極的な授業への出席を前提に、提出するレポートで評価します(100%)。		
受講要件(履修条件)/Requirements	原則として全回出席し、レポートを提出することを単位認定の要件とします。		
アクセシビリティ/Accessibility	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp</p>		
備考(URL)/Remarks(URL)	平成28年度から開講される必修科目「長崎地域学」にも広く連携しており、多面的に長崎のことを深く学べる科目です。		
学生へのメッセージ/Message for students	長崎大学や長崎の歴史、文化など多面的に知り、長崎大学生であることを誇りに思い、長崎の街に興味を持って学びに潤いのある学生生活を送ることです。本科目を履修し、長崎学により深い興味を持ち、長崎検定などに合格することも、学習意欲を身に付けることにつながります。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	科目の趣旨説明、講義概要、講義の進め方、長崎大学の現況(高橋)		
第2回	1) フォン・シーボルトと鳴滝塾(相川)		
第3回	2) 海軍伝習と日本の近代化(相川)		
第4回	3) ポンベ・ファン・メールデルフォールトの医学伝習(相川)		

第5回	1) 長崎ことはじめ, 長崎が誇る世界遺産 1 (高橋)
第6回	2) 長崎が誇る世界遺産 2, 長崎の歴史を築いた人々 (高橋)
第7回	1) 長崎とお茶 ?古から現代まで? (太田)
第8回	1) 長崎原爆被害の実相 (冨塚)
第9回	2) 米戦略と長崎県の軍事基地 (冨塚)
第10回	1) シーボルトが使ったくすり?19世紀長崎での薬の輸入と革新 (田中)
第11回	3) 壱岐の島?一支國から始まるロマンと苦難の歴史 (高橋)
第12回	4) 長崎の歴史散策紹介(1) (高橋)
第13回	5) 長崎の歴史散策紹介(2) (高橋)
第14回	6) 長崎文学の旅, 長崎事件簿 (高橋)
第15回	7) 長崎検定・長崎通への誘い, まとめ (高橋)
第16回	



学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/26		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170588010201	科目番号 / Subject code	05880102
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 13111_003		
授業科目名 / Subject	疑似科学とのつき合い方 / Critical Thinking on Pseudo - Science and Society		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	武藤 浩二 / Cosy MUTO, 福山 隆雄 / Takao Fukuyama, 小西 祐馬 / Konishi Yuuma, 山岸 賢一郎 / Kenichiro Yamagishi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	武藤 浩二 / Cosy MUTO		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	武藤 浩二 / Cosy MUTO, 福山 隆雄 / Takao Fukuyama, 小西 祐馬 / Konishi Yuuma, 山岸 賢一郎 / Kenichiro Yamagishi		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生 (クラス等) / Object Student	全学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	cosy (at) nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	教育学部 美術技術教室棟 2F 206		
担当教員TEL/Tel	2361		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	現代社会に蔓延する各種の疑似科学について学び、それらがなぜ疑似科学と呼ばれるのかを理解することによって、科学的なものの見方を獲得する。 さらに科学の「限界」を把握し、科学と価値の関係の理解を通じて、自律的に生きるための基礎力を養う。		
授業到達目標/Goal	科学的なものの見方を獲得する。 疑似科学かどうかを判断するための方策を考えることができるようになる。 科学と価値の関係について考察できるようになる。		
授業方法 (学習指導法) /Method	黒板への番書やスライド, ビデオを用いた講義と, 担当教員と受講生による討論を行う。 講義資料や課題用紙はLACSや教員のWEBページを通じて配布する。		
授業内容/Class outline/Con	講義内容は多岐にわたる。 各回毎に主担当となる教員と他の教員がテーマに基づいて講義を行う。 なお各回の講義予定は, 教員の業務・出張等の都合で変更になる場合がある。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	科学, 疑似科学, 前科学, 認識論, 感性, 社会調査, 教育		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	資料: 長崎大学教育学部「疑似科学とのつきあいかた」研究会編『疑似科学とのつきあいかた: 教師を目指す皆さんへ』 <a href="http://hdl.handle.net/10069/23093">http://hdl.handle.net/10069/23093</a> 参考書: 菊池聡『なぜ疑似科学を信じるのか』(化学同人), 菊池誠 et.al.『もうだまされないための「科学」講義』(光文社新書), 安育育郎『科学と非科学との間』(かもがわ出版), 伊勢田哲治『疑似科学と科学の哲学』(名古屋大学出版会), 池内了『疑似科学入門』(岩波新書), 菊池聡 et.al.『不思議現象 なぜ信じるのか』(北大路書房), 伊勢田哲治 et.al.『科学技術をよく考えるクリティカルシンキング練習帳』(名古屋大学出版会), ジュリアン・バジーニ『100の思考実験』(紀伊國屋書店), 南郷継正『弁証法・認識論への道』(三一書房), 等		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	講義テーマへの積極的な取り組みを重視する立場から, 最終課題レポート(50%), 討論を含む講義への貢献度および各教員が課す「小レポート」の成績(50%)で総合的に評価する。		
受講要件 (履修条件) /Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	講義情報についてはLACSを参照のこと		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	イントロダクション (全教員)		
第2回	血液型と性格 (主担当教員: 福山隆雄)		

第3回	マイナスイオンとゲルマニウム（主担当教員：武藤浩二）
第4回	水からの伝言（主担当教員：武藤浩二）
第5回	デマの広がりとは都市伝説（主担当教員：福山隆雄）
第6回	リアルとバーチャルの狭間（主担当教員：武藤浩二，山岸賢一郎）
第7回	ケーススタディ#1（全教員）
第8回	全体討論会 #1（全教員）
第9回	代替医療（主担当教員：武藤浩二）
第10回	社会調査のリテラシー：統計データとの正しい接し方（主担当教員：小西祐馬）
第11回	乳幼児の教育（主担当教員：小西祐馬）
第12回	『昔はよかった』を考える（主担当教員：山岸賢一郎）
第13回	信じること／疑うことを考える（主担当教員：山岸賢一郎）
第14回	ケーススタディ#2（全教員）
第15回	全体討論会 #2（全教員）

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/05/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170588015001	科目番号 / Subject code	05880150
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 13161_003		
授業科目名 / Subject	基礎物理 / Basic Physics		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	原 義明 / Hara Yoshiaki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	原 義明 / Hara Yoshiaki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	原 義明 / Hara Yoshiaki		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生 (クラス等) / Object Student	1年次		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	heykura10@yahoo.co.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	090-7537-5434		
担当教員オフィスアワー / Office hours			
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	物体の運動, 熱, 電気・磁気などの諸現象が, "力" や "エネルギー" 等の概念を用いて記述でき, 法則としてまとめられることを学びます。物理の概念を理解し, 法則を把握し, 現象へ適用し応用力を養		
授業到達目標 / Goal	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 運動を時間と共に変化する量で表すことができる。</li> <li>2. 運動方程式により力から運動の解析ができる。</li> <li>3. 時間と共に変化しないエネルギーに着目して運動が解明できる。</li> <li>4. 熱及び電気・磁気分野でもエネルギー概念で現象が説明できる。</li> </ol>		
授業方法 (学習指導法) / Method	この授業では講義及び演習を通して, 基礎知識の定着や応用力の養成を目指します。毎回小テストを実施し, 基礎の定着確認を図ります。		
授業内容 / Class outline / Con	力やエネルギーの概念による現象の解明の仕方を, 力学を中心に熱及び電気・磁気の一部の分野をとおして学びます。16回目に定期試験を実施します。		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	物理基礎研究ノート2017 編集 九州高等学校理科教育研究会 発行 (株) 博洋社		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	定期試験 70% 小テスト 15% (授業時に実施), 課題レポート+授業取り組みへの意欲・態度 15%		
受講要件 (履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	・学習した内容はその週内に復習し, 問題演習による確認を図りましょう。その手助けにレポート課題も課します。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	速さと等速直線運動, 速度		
第2回	速度の合成, 加速度		
第3回	等加速度直線運動		
第4回	落下運動		
第5回	力の合成・分解, 作用反作用の法則, 慣性の法則		

第6回	運動の法則，運動方程式
第7回	運動方程式の応用，摩擦力
第8回	圧力・浮力
第9回	仕事・仕事の原理・仕事率
第10回	運動エネルギー，位置エネルギー
第11回	力学的エネルギーの保存
第12回	熱と温度，熱量の保存
第13回	熱と仕事，熱機関と熱効率
第14回	電流と電気抵抗，電気とエネルギー
第15回	電流と磁場
第16回	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2017/06/05 ~ 2017/08/02		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170588015002	科目番号 / Subject code	05880150
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 13161_003		
授業科目名 / Subject	基礎物理 / Basic Physics		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	原 義明 / Hara Yoshiaki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	原 義明 / Hara Yoshiaki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	原 義明 / Hara Yoshiaki		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生 (クラス等) / Object Student	1年次		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address			
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	090-7537-5434		
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	物体の運動, 熱, 電気・磁気などの諸現象が, "力" や "エネルギー" 等の概念を用いて記述でき, 法則としてまとめられることを学びます。物理の概念を理解し, 法則を把握し, 現象へ適用し応用力を養		
授業到達目標/Goal	1. 運動を時間と共に変化する量で表すことができる。 2. 運動方程式により力から運動の解析ができる。 3. 時間と共に変化しないエネルギーに着目して運動が解明できる。 4. 熱及び電気・磁気分野でもエネルギー概念で現象が説明できる。		
授業方法 (学習指導法) /Method	この授業では講義及び演習を通して, 基礎知識の定着や応用力の養成を目指します。毎回小テストを実施し, 基礎の定着確認を図ります。		
授業内容/Class outline/Con	力やエネルギーの概念による現象の解明の仕方を, 力学を中心に熱及び電気・磁気の一部の分野をとおして学びます。16回目に定期試験を実施します。		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	物理基礎研究ノート2017 編集 九州高等学校理科教育研究会 発行 (株) 博洋社		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験 70% 小テスト 15% (授業時に実施), 課題レポート+授業取り組みへの意欲・態度 15%		
受講要件 (履修条件) /Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	・学習した内容はその週内に復習し, 問題演習による確認を図りましょう。その手助けにレポート課題も課します。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	速さと等速直線運動, 速度		
第2回	速度の合成, 加速度		
第3回	等加速度直線運動		
第4回	落下運動		
第5回	力の合成・分解, 作用反作用の法則, 慣性の法則		

第6回	運動の法則，運動方程式
第7回	運動方程式の応用，摩擦力
第8回	圧力・浮力
第9回	仕事・仕事の原理・仕事率
第10回	運動エネルギー，位置エネルギー
第11回	力学的エネルギーの保存
第12回	熱と温度，熱量の保存
第13回	熱と仕事，熱機関と熱効率
第14回	電流と電気抵抗，電気とエネルギー
第15回	電流と磁場
第16回	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2017/11/28 ~ 2018/01/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170588015003	科目番号 / Subject code	05880150
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 13161_003		
授業科目名 / Subject	基礎物理 / Basic Physics		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	原 義明 / Hara Yoshiaki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	原 義明 / Hara Yoshiaki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	原 義明 / Hara Yoshiaki		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生 (クラス等) / Object Student	1年次		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address			
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	090-7537-5434		
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	物体の運動, 熱, 電気・磁気などの諸現象が, "力" や "エネルギー" 等の概念を用いて記述でき, 法則としてまとめられることを学びます。物理の概念を理解し, 法則を把握し, 現象へ適用し応用力を養		
授業到達目標/Goal	1. 運動を時間と共に変化する量で表すことができる。 2. 運動方程式により力から運動の解析ができる。 3. 時間と共に変化しないエネルギーに着目して運動が解明できる。 4. 熱及び電気・磁気分野でもエネルギー概念で現象が説明できる。		
授業方法 (学習指導法) /Method	この授業では講義及び演習を通して, 基礎知識の定着や応用力の養成を目指します。毎回小テストを実施し, 基礎の定着確認を図ります。		
授業内容/Class outline/Con	力やエネルギーの概念による現象の解明の仕方を, 力学を中心に熱及び電気・磁気の一部の分野をとおして学びます。16回目に定期試験を実施します。		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	物理基礎研究ノート2017 編集 九州高等学校理科教育研究会 発行 (株) 博洋社		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験 70% 小テスト 15% (授業時に実施), 課題レポート+授業取り組みへの意欲・態度 15%		
受講要件 (履修条件) /Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	・学習した内容はその週内に復習し, 問題演習による確認を図りましょう。その手助けにレポート課題も課します。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	速さと等速直線運動, 速度		
第2回	速度の合成, 加速度		
第3回	等加速度直線運動		
第4回	落下運動		
第5回	力の合成・分解, 作用反作用の法則, 慣性の法則		

第6回	運動の法則，運動方程式
第7回	運動方程式の応用，摩擦力
第8回	圧力・浮力
第9回	仕事・仕事の原理・仕事率
第10回	運動エネルギー，位置エネルギー
第11回	力学的エネルギーの保存
第12回	熱と温度，熱量の保存
第13回	熱と仕事，熱機関と熱効率
第14回	電流と電気抵抗，電気とエネルギー
第15回	電流と磁場
第16回	定期試験



学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2017/06/05 ~ 2017/08/02		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170588015101	科目番号 / Subject code	05880151
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 13211_003		
授業科目名 / Subject	基礎化学 / Basic Chemistry		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	筒井 保之 / Yasuyuki Tsutsui		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	筒井 保之 / Yasuyuki Tsutsui		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	筒井 保之 / Yasuyuki Tsutsui		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生 (クラス等) / Object Student	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yasuyasu851 mxb.cncm.ne.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	非常勤講師室にて水曜日 15:30以降・要確認		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	高等学校で「化学基礎」を履修していない学生を対象に、高等学校「化学基礎」の範囲の基礎的 基本的内容を学習します。		
授業到達目標/Goal	高等学校「化学基礎」で履修する範囲の基礎的基本的な学習内容について理解し、学習内容を関連 の分野で活用できるようになる。		
授業方法 (学習指導法) /Method	授業形式で行いますが、一部演習の時間を入れる予定です。指定したテキスト等をもとに、受講者 自ら基礎的基本的内容を学習するとともに、発展的な学習にも努めてもらいます。		
授業内容/Class outline/Con	高等学校「化学基礎」をテキストとして使用し、その基礎的基本的事項に関して解説を中心に授業 を進めます。学習内容の確認定着が特に必要な内容について、一部演習の時間を設定します。また 、小テストの実施と課題を出しその提出を求めることがあります。ただし、時間的な制約もあるた め、受講者自らでテキストを予習復習し、学習内容の定着と学習に関連した問題演習に努めるこ とが必要です。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	基礎化学 化学基礎		
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	数研出版 「化学基礎」 (大学生協で販売しています)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	成績評価は、定期試験60%、授業中に実施する小テストおよび提出課題の評価40%で行います 。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	化学の基礎基本を学習します。関連の項目について積極的な演習をおこないましょう。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション 1 物質の構成		
第2回	2 物質の構成粒子 原子とその構造、電子配置、イオン、周期表		
第3回	3 粒子の結合 (1)イオン結合とイオンからなる物質、(2)共有結合と分子		
第4回	(3)分子の極性と分子間力、(4)共有結合の物質、(5)金属結合と金属 (6)化学結合のまとめ・結晶		
第5回	4 物質と化学反応式 (1)原子量、分子量、式量		

第6回	(2)物質量 (3)化学反応式
第7回	(4)化学反応式と物質量
第8回	(5)演習
第9回	5 酸と塩基 (1)酸・塩基
第10回	(2)水の電離と水溶液のpH
第11回	(3)中和反応
第12回	(4)塩の分類と液性 (5)演習
第13回	6 酸化還元反応 (1)酸化と還元 (2)酸化剤と還元剤
第14回	(3)酸化還元反応 (4)金属の酸化還元反応
第15回	(5)演習 (6)酸化還元反応の利用
第16回	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2017/11/28 ~ 2018/01/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170588015102	科目番号 / Subject code	05880151
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 13211_003		
授業科目名 / Subject	基礎化学 / Basic Chemistry		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	筒井 保之 / Yasuyuki Tsutsui		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	筒井 保之 / Yasuyuki Tsutsui		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	筒井 保之 / Yasuyuki Tsutsui		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生 (クラス等) / Object Student	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yasuyasu851 mxb.cncm.ne.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	非常勤講師室にて水曜日 15:30以降・要確認		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	高等学校で「化学基礎」を履修していない学生を対象に、高等学校「化学基礎」の範囲の基礎的 基本的内容を学習します。		
授業到達目標/Goal	高等学校「化学基礎」で履修する範囲の基礎的基本的な学習内容について理解し、学習内容を関連 の分野で活用できるようになる。		
授業方法 (学習指導法) /Method	授業形式で行いますが、一部演習の時間を入れる予定です。指定したテキスト等をもとに、受講者 自ら基礎的基本的内容を学習するとともに、発展的な学習にも努めてもらいます。		
授業内容/Class outline/Con	高等学校「化学基礎」をテキストとして使用し、その基礎的基本的事項に関して解説を中心に授業 を進めます。学習内容の確認定着が特に必要な内容について、一部演習の時間を設定します。また 、小テストの実施と課題を出しその提出を求めることがあります。ただし、時間的な制約もあるた め、受講者自らでテキストを予習復習し、学習内容の定着と学習に関連した問題演習に努めるこ とが必要です。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	基礎化学 化学基礎		
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	数研出版 「化学基礎」 (大学生協で販売しています)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	成績評価は、定期試験 60%、授業中に実施する小テストおよび提出課題の評価 40%で行います 。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	化学の基礎基本を学習します。関連の項目について積極的な演習をおこなひましょう。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション 1 物質の構成		
第2回	2 物質の構成粒子 原子とその構造、電子配置、イオン、周期表		
第3回	3 粒子の結合 (1)イオン結合とイオンからなる物質、(2)共有結合と分子		
第4回	(3)分子の極性と分子間力、(4)共有結合の物質、(5)金属結合と金属 (6)化学結合のまとめ・結晶		
第5回	4 物質と化学反応式 (1)原子量、分子量、式量		

第6回	(2)物質量 (3)化学反応式
第7回	(4)化学反応式と物質量
第8回	(5)演習
第9回	5 酸と塩基 (1)酸・塩基
第10回	(2)水の電離と水溶液のpH
第11回	(3)中和反応
第12回	(4)塩の分類と液性 (5)演習
第13回	6 酸化還元反応 (1)酸化と還元 (2)酸化剤と還元剤
第14回	(3)酸化還元反応 (4)金属の酸化還元反応
第15回	(5)演習 (6)酸化還元反応の利用
第16回	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/05/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170588015201	科目番号 / Subject code	05880152
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 14111_004		
授業科目名 / Subject	基礎生物 / Basic Biology		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	平倉 充 / Mitsuru Hirakura		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	平倉 充 / Mitsuru Hirakura		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	平倉 充 / Mitsuru Hirakura		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生 (クラス等) / Object Student	教育、医、歯、薬、環境科学部の1年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	y-nakagawa@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory			
担当教員TEL/Tel	095-800-6622		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにて質問や要望を受け付ける。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	高等学校において生物基礎を履修していない者、歯学部の場合はセンター試験において生物を利用 していない者に対して、高校の教科書を用いて講義を行う。		
授業到達目標/Goal	教科書「高等学校生物基礎」の内容を理解する。		
授業方法 (学習指導法) /Method	毎回、講義内容のプリントを準備する。教科書を用いて講義する。ポイントをプリントにメモをと っていく。15回で教科書の内容をまとめたノートが完成する。毎回、確認のための小テストを行 いそれが平常点となる。期末考査の得点と合わせて、100点満点で評価する。		
授業内容/Class outline/Con	講義形式とする。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	高等学校「生物基礎」(第一学習社)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	15回の講義の終わり10分間で確認の小テストを実施する。各3点満点としその合計45点を平 常点とする。期末考査の得点を55点に換算して平常点の45点を加えて100点として評価する 。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	教育学部、医学部、薬学部、環境科学部の1年生で高等学校において生物基礎を履修していない者 、あるいは歯学部1年生でセンター試験において生物を利用していない者。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	高校の教科書「生物基礎」に目を通し、常識的内容を理解し大学での専門的な生物関係の教科・科目を学んでいく手がかり・足がかりとする。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	第一章 生物の特徴 ?生物の多様性 ?生物の共通性と多様性の起源 ?生物の特性 ?細胞の多様性		
第2回	第一章 生物の特徴 ?細胞の構造にみられる共通性 ?代謝とATP ?ATPの構造と働き		
第3回	第一章 生物の特徴 ?葉緑体も構造と色素 ?光エネルギーの吸収 ?光合成の過程		
第4回	第一章 生物の特徴 ?ミトコンドリアと細胞質基質 ?呼吸の過程		
第5回	第二章 遺伝子とその働き ?遺伝子の本体 ?DNAの構造		
第6回	第二章 遺伝子とその働き ?遺伝情報の複製と分配 (・細胞周期・遺伝情報の複製・遺伝情報の分配)		

第7回	第二章 遺伝子とその働き ?タンパク質 ?転写と翻訳 ?タンパク質の合成
第8回	第二章 遺伝子とその働き ?遺伝子とゲノム ?細胞内での遺伝子の発現
第9回	第三章 生物の体内環境 ?恒常性とは ?体液の種類 ?血液の成分と働き ?酸素の運搬 ?血液凝固
第10回	第三章 生物の体内環境 ?肝臓の働き ?体液の濃度調節 (・浸透圧の調節・単細胞生物の調節・無脊椎動物の調節)
第11回	第三章 生物の体内環境 ?魚類にみられる体液の調節 ?ほ乳動物にみられる体液の調節 (腎臓の働き)
第12回	第三章 生物の体内環境 ?免疫 (・体液性免疫・細胞性免疫・アレルギー・予防接種と血清療法)
第13回	第三章 生物の体内環境 ?自律神経系と内分泌系 (・ホルモンによる調節・自律神経による調節・共同調節)
第14回	第四章 バイオームの多様性と分布 ?生物の多様性とバイオーム ?バイオームの形成過程 ?バイオームとその分布
第15回	第五章 生態系とその保全 ?生態系の成り立ち (食物連鎖と栄養段階) ?物質循環とエネルギーの流れ (炭素、窒素の循環)? 生態系のバランスと保全 ?自然環境の保全
第16回	期末考査【50分間、5問】 5問については、講義最終回の折に出題分野を提示する。

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2017/06/05 ~ 2017/08/02		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170588015202	科目番号 / Subject code	05880152
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 14111_004		
授業科目名 / Subject	基礎生物 / Basic Biology		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	平倉 充 / Mitsuru Hirakura		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	平倉 充 / Mitsuru Hirakura		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	平倉 充 / Mitsuru Hirakura		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生(クラス等) / Object Student	教育、医、歯、薬、環境科学部の1年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	heykura10 yahoo.co.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory			
担当教員TEL/Tel	095-800-6622		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにて質問や要望を受け付ける。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	高等学校において生物基礎を履修していない者、歯学部の場合はセンター試験において生物を利用していない者に対して、高校の教科書を用いて講義を行う。		
授業到達目標/Goal	教科書「高等学校生物基礎」の内容を理解する。		
授業方法(学習指導法) / Method	毎回、講義内容のプリントを準備する。教科書を用いて講義する。ポイントをプリントにメモをとっていく。15回で教科書の内容をまとめたノートが完成する。毎回、確認のための小テストを行いそれが平常点となる。期末考査の得点と合わせて、100点満点で評価する。		
授業内容/Class outline/Con	講義形式とする。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	高等学校「生物基礎」(第一学習社)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	15回の講義の終わり10分間で確認の小テストを実施する。各3点満点としその合計45点を平常点とする。期末考査の得点を55点に換算して平常点の45点を加えて100点として評価する。		
受講要件(履修条件) / Requirements	教育学部、医学部、薬学部、環境科学部の1年生で高等学校において生物基礎を履修していない者、あるいは歯学部1年生でセンター試験において生物を利用していない者。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	高校の教科書「生物基礎」に目を通し、常識的内容を理解し大学での専門的な生物関係の教科・科目を学んでいく手がかり・足がかりとする。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	第一章 生物の特徴 生物の多様性 生物の共通性と多様性の起源 生物の特性 細胞の多様性		
第2回	第一章 生物の特徴 細胞の構造にみられる共通性 代謝とATP ATPの構造と働き		
第3回	第一章 生物の特徴 葉緑体も構造と色素 光エネルギーの吸収 光合成の過程		
第4回	第一章 生物の特徴 ミトコンドリアと細胞質基質 呼吸の過程		
第5回	第二章 遺伝子とその働き 遺伝子の本体 DNAの構造		
第6回	第二章 遺伝子とその働き 遺伝情報の複製と分配(・細胞周期・遺伝情報の複製・遺伝情報の分配)		
第7回	第二章 遺伝子とその働き タンパク質 転写と翻訳 タンパク質の合成		

第8回	第二章 遺伝子とその働き 遺伝子とゲノム 細胞内での遺伝子の発現
第9回	第三章 生物の体内環境 恒常性とは 体液の種類 血液の成分と働き 酸素の運搬 血液凝固
第10回	第三章生物の体内環境 肝臓の働き 体液の濃度調節（・浸透圧の調節・単細胞生物の調節・無脊椎動物の調節）
第11回	第三章生物の体内環境 魚類にみられる体液の調節 ほ乳動物にみられる体液の調節（腎臓の働き）
第12回	第三章 生物の体内環境 免疫（・体液性免疫・細胞性免疫・アレルギー・予防接種と血清療法）
第13回	第三章 生物の体内環境 自律神経系と内分泌系（・ホルモンによる調節・自律神経による調節・共同調節）
第14回	第四章 バイオームの多様性と分布 生物の多様性とバイオーム バイオームの形成過程 バイオームとその分布
第15回	第五章 生態系とその保全 生態系の成り立ち（食物連鎖と栄養段階） 物質循環とエネルギーの流れ（炭素、窒素の循環） 生態系のバランスと保全 自然環境の保全
第16回	期末考査【50分間、5問】 5問については、講義最終回の折に出題分野を提示する。



学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 4ク ォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2017/11/28 ~ 2018/01/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170588015203	科目番号 / Subject code	05880152
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 14111_004		
授業科目名 / Subject	基礎生物 / Basic Biology		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	平倉 充 / Mitsuru Hirakura		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	平倉 充 / Mitsuru Hirakura		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	平倉 充 / Mitsuru Hirakura		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生(クラス等) / Object Student	教育、医、歯、薬、環境科学部の1年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	heykura10 yahoo.co.jp (メールを送信する際は @に 変更して送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory			
担当教員TEL/Tel	095-800-6622		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにて質問や要望を受け付ける。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	高等学校において生物基礎を履修していない者、歯学部の場合はセンター試験において生物を利用 していない者に対して、高校の教科書を用いて講義を行う。		
授業到達目標/Goal	教科書「高等学校生物基礎」の内容を理解する。		
授業方法(学習指導法)/Method	毎回、講義内容のプリントを準備する。教科書を用いて講義する。ポイントをプリントにメモをと っていく。15回で教科書の内容をまとめたノートが完成する。毎回、確認のための小テストを行 いそれが平常点となる。期末考査の得点と合わせて、100点満点で評価する。		
授業内容/Class outline/Con	講義形式とする。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	高等学校「生物基礎」(第一学習社)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	15回の講義の終わり10分間で確認の小テストを実施する。各3点満点としその合計45点を平 常点とする。期末考査の得点を55点に換算して平常点の45点を加えて100点として評価する 。		
受講要件(履修条件)/Requirements	教育学部、医学部、薬学部、環境科学部の1年生で高等学校において生物基礎を履修していない者 、あるいは歯学部1年生でセンター試験において生物を利用していない者。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	高校の教科書「生物基礎」に目を通し、常識的内容を理解し大学での専門的な生物関係の教科・科目を学んでいく手がかり・足がかりとする。		
授業計画詳細/Course Schedule			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	第一章 生物の特徴 ?生物の多様性 ?生物の共通性と多様性の起源 ?生物の特性 ?細胞の多様性		
第2回	第一章 生物の特徴 ?細胞の構造にみられる共通性 ?代謝とATP ?ATPの構造と働き		
第3回	第一章 生物の特徴 ?葉緑体も構造と色素 ?光エネルギーの吸収 ?光合成の過程		
第4回	第一章 生物の特徴 ?ミトコンドリアと細胞質基質 ?呼吸の過程		
第5回	第二章 遺伝子とその働き ?遺伝子の本体 ?DNAの構造		
第6回	第二章 遺伝子とその働き ?遺伝情報の複製と分配(・細胞周期・遺伝情報の複製・遺伝情報の分配)		
第7回	第二章 遺伝子とその働き ?タンパク質 ?転写と翻訳 ?タンパク質の合成		

第8回	第二章 遺伝子とその働き ?遺伝子とゲノム ?細胞内での遺伝子の発現
第9回	第三章 生物の体内環境 ?恒常性とは ?体液の種類 ?血液の成分と働き ?酸素の運搬 ?血液凝固
第10回	第三章生物の体内環境 ?肝臓の働き ?体液の濃度調節 (・浸透圧の調節・単細胞生物の調節・無脊椎動物の調節)
第11回	第三章生物の体内環境 ?魚類にみられる体液の調節 ?ほ乳動物にみられる体液の調節 (腎臓の働き)
第12回	第三章 生物の体内環境 ?免疫 (・体液性免疫・細胞性免疫・アレルギー・予防接種と血清療法)
第13回	第三章 生物の体内環境 ?自律神経系と内分泌系 (・ホルモンによる調節・自律神経による調節・共同調節)
第14回	第四章 バイオームの多様性と分布 ?生物の多様性とバイオーム ?バイオームの形成過程 ?バイオームとその分布
第15回	第五章 生態系とその保全 ?生態系の成り立ち (食物連鎖と栄養段階) ?物質循環とエネルギーの流れ (炭素、窒素の循環) ?生態系のバランスと保全 ?自然環境の保全
第16回	期末考査【50分間、5問】 5問については、講義最終回の折に出題分野を提示する。

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/05/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170588015301	科目番号 / Subject code	05880153
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 13261_003		
授業科目名 / Subject	基礎数学 / Basic Mathematics		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	中川 幸久 / Nakagawa Yukihisa		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	中川 幸久 / Nakagawa Yukihisa		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	中川 幸久 / Nakagawa Yukihisa		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生(クラス等) / Object Student	本講座の「基礎数学Q1」は主として大学入学前教育(数学講座)を受講した者を対象とします。それ以外は、「基礎数学Q2もしくはQ3」を受講してください。		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	y-nakagawa@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	教育棟新館「251号室」		
担当教員TEL/Tel	研究室095-819-2090		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日(13:00?17:00) 火曜日(13:00?17:00) 木曜日(13:00?17:00)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	高校学校で学ぶ微積分の分野の基礎を固め、大学の学修への連携を図る。		
授業到達目標/Goal	高等学校で身につけておくべき微積分の知識や活用力の定着を図る。また、大学で学ぶ初等関数(三角関数の逆関数や双曲線関数)の理解を深める。		
授業方法(学習指導法)/Method	微積分の基礎力の定着を図るため、演習を中心とした授業形態をとる。		
授業内容/Class outline/Con	大学前教育で取り扱った「微積分演習ノート」の重要問題を中心に上げ、詳しく解説するとともに、基礎力の定着を図るため、適宜小テスト(確認テスト)を行う。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	微積分の基礎力を身につける。		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	入学前教育で使用した「微積分ノート」を使用する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	小テスト(確認テスト)、定期試験、授業への意欲・興味・関心など総合的に判断する。		
受講要件(履修条件)/Requirements	15回の講義に毎回、出席すること。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障害の除去及び合理的配慮の徹底に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談ください。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-29448 (E-MALL)support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	当講座は、基本的に入学前教育の継続で開講しますが、それ以外の人を拒むものではありません。希望者がいれば、テキストを配布しますので事前に連絡ください。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	1. 平均値の定理? 6. 3次関数の極値		
第2回	7. 3次関数のグラフ? 9. 方程式とグラフ		
第3回	10. 不定積分? 13. 定積分と微分		
第4回	14. 図形の面積? 17. $(ax + b)$ の累乗の積分		
第5回	18. 微分可能? 22. 指数関数の導関数		
第6回	23. 陰関数の導関数? 25. 様々な関数の導関数		
第7回	26. 曲線の接線? 29. 平均値の定理		

第 8 回	3 0 . 4 次関数の増減? 3 4 . 分数関数
第 9 回	3 5 . 2次導関数と極値? 4 0 . 不定積分 (置換積分)
第 1 0 回	4 1 . 不定積分 (部分積分)? 4 3 . 定積分
第 1 1 回	4 4 . 定積分 (置換積分)? 4 7 . 定積分 (置換積分)
第 1 2 回	4 8 . 定積分 (部分積分)? 5 1 . 図形の面積
第 1 3 回	5 2 . 立体の体積? 5 5 . 曲線の長さ
第 1 4 回	三角関数の逆関数
第 1 5 回	双曲線関数
第 1 6 回	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 2クォーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2017/06/05 ~ 2017/08/02		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170588015302	科目番号 / Subject code	05880153
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 13261_003		
授業科目名 / Subject	基礎数学 / Basic Mathematics		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	中川 幸久 / Nakagawa Yukihiisa		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	中川 幸久 / Nakagawa Yukihiisa		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	中川 幸久 / Nakagawa Yukihiisa		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生 (クラス等) / Object Student	全学年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	y-nakagawa nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	教育棟新館「251号室」		
担当教員TEL/Tel	研究室095-819-2090		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日(13:00~17:00) 火曜日(13:00~17:00) 木曜日(13:00~17:00)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	高校学校で学ぶ微分積分の分野の基礎を固め、大学の学修への連携を図る。		
授業到達目標/Goal	高等学校で身に付けておくべき微分積分の知識や活用力の定着を図る。また、大学で学ぶ初等関数(三角関数の逆関数や双曲線関数)の理解を深める。		
授業方法(学習指導法)/Method	微分積分の基礎力の定着を図るため、演習を中心とした授業形態をとる。		
授業内容/Class outline/Con	開講時に配布する「微分積分演習ノート」の重要問題を中心に取り上げ、詳しく解説するとともに、微分積分の基礎力の定着を図るため適宜、小テスト(確認テスト)を行う。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	微分積分の基礎力を身に着ける。		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	開講時に配布する「微分積分ノート」を使用する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	小テスト(確認テスト)、定期試験、授業への意欲・興味・関心など総合的に判断する。		
受講要件(履修条件)/Requirements	15回の講義に毎回、出席すること。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障害の除去及び合理的配慮の徹底に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談ください。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-29448 (E-MALL)support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	高等学校で学ぶ微分積分の分野(数学と数学)の総復習と大学で学ぶ微分積分学のつなぎを学びます。意欲のある人の受講を望みます。		
授業計画詳細/Course Schedule			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容/Contents		
第1回	1. 平均値の定理 ~ 6. 3次関数の極値		
第2回	7. 3次関数のグラフ ~ 9. 方程式とグラフ		
第3回	10. 不定積分 ~ 13. 定積分と微分		
第4回	14. 図形の面積 ~ 17. $(ax + b)$ の累乗の積分		
第5回	18. 微分可能 ~ 22. 指数関数の導関数		
第6回	23. 陰関数の導関数 ~ 25. 様々な関数の導関数		
第7回	26. 曲線の接線 ~ 29. 平均値の定理		
第8回	30. 4次関数の増減 ~ 34. 分数関数		

第9回	35. 2次導関数と極値 ~ 40. 不定積分 (置換積分)
第10回	41. 不定積分 (部分積分) ~ 43. 定積分
第11回	44. 定積分 (置換積分) ~ 47. 定積分 (置換積分)
第12回	48. 定積分 (部分積分) ~ 51. 図形の面積
第13回	52. 立体の体積 ~ 55. 曲線の長さ
第14回	三角関数の逆関数
第15回	双曲線関数
第16回	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2017/11/22		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170588015303	科目番号 / Subject code	05880153
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 13261_003		
授業科目名 / Subject	基礎数学 / Basic Mathematics		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	中川 幸久 / Nakagawa Yukihisa		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	中川 幸久 / Nakagawa Yukihisa		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	中川 幸久 / Nakagawa Yukihisa		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生(クラス等) / Object Student	全学年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	y-nakagawa@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	教育棟新館「251号室」		
担当教員TEL/Tel	研究室095-819-2090		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日(13:00?17:00) 火曜日(13:00?17:00) 木曜日(13:00?17:00)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	高校学校で学ぶ微分積分の分野の基礎を固め、大学の学修への連携を図る。		
授業到達目標/Goal	高等学校で身に付けておくべき微分積分の知識や活用力の定着を図る。また、大学で学ぶ初等関数(三角関数の逆関数や双曲線関数)の理解を深める。		
授業方法(学習指導法)/Method	微分積分の基礎力の定着を図るため、演習を中心とした授業形態をとる。		
授業内容/Class outline/Con	開講時に配布する「微分積分演習ノート」の重要問題を中心に取り上げ、詳しく解説するとともに、微分積分の基礎力の定着を図るため適宜、小テスト(確認テスト)を行う。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	微分積分の基礎力を身に着ける。		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	開講時に配布する「微分積分ノート」を使用する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	小テスト(確認テスト)、定期試験、授業への意欲・興味・関心など総合的に判断する。		
受講要件(履修条件)/Requirements	15回の講義に毎回、出席すること。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障害の除去及び合理的配慮の徹底に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談ください。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-29448 (E-MALL)support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	高等学校で学ぶ微分積分の分野(数学?と数学?)の総復習と大学で学ぶ微積分学のつながりを学びます。意欲のある人の受講を望みます。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	1. 平均値の定理? 6. 3次関数の極値		
第2回	7. 3次関数のグラフ? 9. 方程式とグラフ		
第3回	10. 不定積分? 13. 定積分と微分		
第4回	14. 図形の面積? 17. (ax + b)の累乗の積分		
第5回	18. 微分可能? 22. 指数関数の導関数		
第6回	23. 陰関数の導関数? 25. 様々な関数の導関数		
第7回	26. 曲線の接線? 29. 平均値の定理		
第8回	30. 4次関数の増減? 34. 分数関数		

第9回	35. 2次導関数と極値? 40. 不定積分 (置換積分)
第10回	41. 不定積分 (部分積分)? 43. 定積分
第11回	44. 定積分 (置換積分)? 47. 定積分 (置換積分)
第12回	48. 定積分 (部分積分)? 51. 図形の面積
第13回	52. 立体の体積? 55. 曲線の長さ
第14回	三角関数の逆関数
第15回	双曲線関数
第16回	定期試験



学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/05/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170588015401	科目番号 / Subject code	05880154
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 12811_002		
授業科目名 / Subject	基礎英語 / Basic English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	金子 修司 / Shuuji Kaneko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	金子 修司 / Shuuji Kaneko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	金子 修司 / Shuuji Kaneko		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Object Student	全学生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	skaneko@mx.ncm.ne.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL / Tel	095-845-0369		
担当教員オフィスアワー / Office hours	水曜日 15時45分? 16時05分 非常勤講師室		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	<p>高校英語の既習事項に習熟し、大学英語に対応できる基礎力・運用力を養成し大学英語への橋渡しとすることをねらいとする。テキストを使って使用頻度の高い基本構文、熟語、語法、文法、語彙力を身につける。これらの基礎力に基づき、パラグラフリーディング・精読演習を通して読解の基礎力養成に努める。また、音読を行い聞き取りの基礎を学ぶ。</p>		
授業到達目標 / Goal	<p>(1) 高等学校までの既習の基本構文、語法、文法、熟語、語彙等を習得し運用できるようになる。</p> <p>(2) 英文の大意把握、評論文の読み方に習熟し、大学英語や専門課程で使用する教科書、資料を精読し、内容を理解できるようになる。</p> <p>(3) 強勢、イントネーション、区切りなどの基本的な聞き取りとともに、情報の意味・内容や話し手の意図を理解できるようになる。</p>		
授業方法 (学習指導法) / Method	<p>演習および講義形式とする。</p> <p>(1) 基本構文習熟のために問題集を使用する。プリント教材等を毎時配付し、熟語、語法、基本文法を確認し、その運用力と応用力を身につける。</p> <p>(2) 英文読解のプリント教材を使用し、パラグラフリーディングの基礎を学び、文章の概要と情報を把握する力を習得する。</p> <p>(3) 前時既習の基本事項について小テストを行い定着を図る。</p>		
授業内容 / Class outline / Con	<p>(1) 授業の最初に前時学習内容の各認のため小テストを行う。出題内容は、基本構文の定着度をみるために和文英訳、整序英作文、空所補充英文完成等。また、熟語、語彙問題も含む。</p> <p>(2) 英語構文問題集を使って演習を行い、基本的な構文及び、熟語、文法、語彙を確認し定着を図る。</p> <p>(3) パラグラフリーディング用プリント教材を使って読解力を身につける。主題に沿った内容把握の方法を習得する。</p> <p>使用教材：?英語構文問題集 ?基本構文・文法プリント教材?演習英文プリント：読解力養成 ?パラグラフリーディングの基礎基本教材プリント ?辞書使用</p>		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	<p>(1) 頻出構文・頻出文法事項・長文プリント等の予習プリントを配付し演習・講義の準備を支援する。</p> <p>(2) 小テスト等で既習事項の定着を図る。</p>		
キーワード / Key word	基本的な構文、文法、語法、熟語、長文の読み方の習熟		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	<p>英語構文 (2週間完成) (日英社) (学内書店にて販売)</p> <p>頻出構文、頻出文法事項 + 長文プリントを基本的に毎時配付する。</p> <p>英語辞書を授業時に持参すること。授業用ノートを持参すること。</p>		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	<p>(1) 定期考査 60% (2) 中間テスト 30% (3) 授業中活動、課題等を評価に加える (小テストを含む) 10%</p>		
受講要件 (履修条件) / Requirements	全回出席を原則とする。英語辞書、ノートを持参すること。		
アクセシビリティ / Accessibility	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p>		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	本授業は基本事項の再確認と応用力の養成、併せて高等学校における英語受講時間数の都合で未習範囲がある場合に対応できるように、丁寧な講義、演習、資料学習とし、大学英語へ円滑に移行できるように工夫・構成します。		
授業計画詳細 / Course Schedule			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション(授業の進め方について) 英語基礎テスト(Evaluation Test)を実施する。 (1) Itを中心とした構文
第2回	(2) 助動詞を使った構文 小テスト(前時学習内容確認テスト)?以下各回同様? プリント教材(パラグラフの基本的な構造)
第3回	(3) 不定詞を使った構文 小テスト ?Paragraph-1(プリント) 演習?以下各回同様?
第4回	(4) 動名詞を使った構文 小テスト ?Paragraph-2(プリント)
第5回	(5) 分詞を使った構文 小テスト ?Paragraph-3(プリント)
第6回	(6) 第5文型の構文 小テスト ?Paragraph-4(プリント)
第7回	(7) 比較構文 小テスト ?Paragraph-5(プリント)
第8回	中間試験(第1回?6回の学習内容から出題する)
第9回	(9) 時を表す構文 小テスト ?Paragraph-6(プリント)
第10回	(10) 関係詞を使った構文 小テスト ?Paragraph-7(プリント)
第11回	(11) 条件・仮定を表す構文 小テスト ?Paragraph-8(プリント)
第12回	(12) 譲歩を表す構文 小テスト ?Paragraph-9(プリント)
第13回	(13) 相関関係を表す構文 小テスト ?Paragraph-10(プリント)
第14回	(14) 否定構文 小テスト ?Paragraph-11(プリント)
第15回	(15) その他の構文(プリント) 小テスト ?Paragraph-12(プリント)
第16回	定期試験(中間試験以降?15回の学習内容から出題する)

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 2ク ォーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2017/06/05 ~ 2017/08/02		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170588015402	科目番号 / Subject code	05880154
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 12811_002		
授業科目名 / Subject	基礎英語 / Basic English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	金子 修司 / Shuuji Kaneko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	金子 修司 / Shuuji Kaneko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	金子 修司 / Shuuji Kaneko		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Object Student	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	skaneko mxb.cncm.ne.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-845-0369		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日 15時45分 ~ 16時05分非常勤講師室		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	高校英語の既習事項に習熟し、大学英語に対応できる基礎力・運用力を養成し大学英語への橋渡し とすることをねらいとする。テキストを使って使用頻度の高い基本構文、熟語、語法、文法、語彙 力を身につける。これらの基礎力に基づき、パラグラフリーディング・精読演習を通して読解の基 礎力養成に努める。また、音読を行い聞き取りの基礎を学ぶ。		
授業到達目標/Goal	(1) 高等学校までの既習の基本構文、語法、文法、熟語、語彙等を習得し運用できるようになる。 (2) 英文の大意把握、評論文の読み方に習熟し、大学英語や専門課程で使用する教科書、資料を 精読し、内容を理解できるようになる。 (3) 強勢、イントネーション、区切りなどの基本的な聞き取りとともに、情報の意味・内容や話 し手の意図を理解できるようになる。		
授業方法 (学習指導法) /Method	演習および講義形式とする。 (1) 基本構文習熟のために問題集を使用する。プリント教材等を毎時配付し、熟語、語法、基本 文法を確認し、その運用力と応用力を身につける。 (2) 英文読解のプリント教材を使用し、パラグラフリーディングの基礎を学び、文章の概要と情 報を把握する力を習得する。 (3) 前時既習の基本事項について小テストを行い定着を図る。		
授業内容/Class outline/Con	(1) 授業の最初に前時学習内容の各認のため小テストを行う。出題内容は、基本構文の定着度を みるために和文英訳、整序英作文、空所補充英文完成等。また、熟語、語彙問題も含む。 (2) 英語構文問題集を使って演習を行い、基本的な構文及び、熟語、文法、語彙を確認し定着を 図る。 (3) パラグラフリーディング用プリント教材を使って読解力を身につける。主題に沿った内容把 握の方法を習得する。 使用教材： 英語構文問題集 基本構文・文法プリント教材 演習英文プリント：読解力養成 パラグラフリーディングの基礎基本教材プリント 辞書使用		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	(1) 頻出構文・頻出文法事項・長文プリント等の予習プリントを配付し演習・講義の準備を支援 する。 (2) 小テスト等で既習事項の定着を図る。		
キーワード/Key word	基本的な構文、文法、語法、熟語、長文の読み方の習熟		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	英語構文(2週間完成)(日英社) (学内書店にて販売) 頻出構文、頻出文法事項+長文プリントを基本的に毎時配付する。 英語辞書を授業時に持参すること。授業用ノートを持参すること。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	(1) 定期考査60% (2) 中間テスト30% (3) 授業中活動、課題等を評価に加える(小テ ストを含む)10%		
受講要件(履修条件)/Requirements	全回出席を原則とする。英語辞書、ノートを持参すること。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	本授業は基本事項の再確認と応用力の養成、併せて高等学校における英語受講時間数の都合で未習 範囲がある場合に対応できるように、丁寧な講義、演習、資料学習とし、大学英語へ円滑に移行で きるように工夫・構成します。		
授業計画詳細 / Course Schedule			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション(授業の進め方について) 英語基礎テスト(Evaluation Test)を実施する。 (1) Itを中心とした構文
第2回	(2) 助動詞を使った構文 小テスト(前時学習内容確認テスト) - 以下各回同様 - プリント教材(パラグラフの基本的な構造)
第3回	(3) 不定詞を使った構文 小テスト Paragraph-1(プリント) 演習 - 以下各回同様 -
第4回	(4) 動名詞を使った構文 小テスト Paragraph-2(プリント)
第5回	(5) 分詞を使った構文 小テスト Paragraph-3(プリント)
第6回	(6) 第5文型の構文 小テスト Paragraph-4(プリント)
第7回	(7) 比較構文 小テスト Paragraph-5(プリント)
第8回	中間試験(第1回~6回の学習内容から出題する)
第9回	(9) 時を表す構文 小テスト Paragraph-6(プリント)
第10回	(10) 関係詞を使った構文 小テスト Paragraph-7(プリント)
第11回	(11) 条件・仮定を表す構文 小テスト Paragraph-8(プリント)
第12回	(12) 譲歩を表す構文 小テスト Paragraph-9(プリント)
第13回	(13) 相関関係を表す構文 小テスト Paragraph-10(プリント)
第14回	(14) 否定構文 小テスト Paragraph-11(プリント)
第15回	(15) その他の構文(プリント) 小テスト Paragraph-12(プリント)
第16回	定期試験(中間試験以降~15回の学習内容から出題する)

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 4ク ォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2017/11/28 ~ 2018/01/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170588015403	科目番号 / Subject code	05880154
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 12811_002		
授業科目名 / Subject	基礎英語 / Basic English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	金子 修司 / Shuuji Kaneko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	金子 修司 / Shuuji Kaneko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	金子 修司 / Shuuji Kaneko		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生 (クラス等) / Object Student	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	skaneko mxb.cncm.ne.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してくだ さい)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-845-0369		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日 15時45分? 16時05分非常勤講師室		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	高校英語の既習事項に習熟し、大学英語に対応できる基礎力・運用力を養成し大学英語への橋渡し とすることをねらいとする。テキストを使って使用頻度の高い基本構文、熟語、語法、文法、語彙 力を身につける。これらの基礎力に基づき、パラグラフリーディング・精読演習を通して読解の基 礎力養成に努める。また、音読を行い聞き取りの基礎を学ぶ。		
授業到達目標/Goal	(1) 高等学校までの既習の基本構文、語法、文法、熟語、語彙等を習得し運用できるようになる。 (2) 英文の大意把握、評論文の読み方に習熟し、大学英語や専門課程で使用する教科書、資料を 精読し、内容を理解できるようになる。 (3) 強勢、イントネーション、区切りなどの基本的な聞き取りとともに、情報の意味・内容や話 し手の意図を理解できるようになる。		
授業方法 (学習指導法) /Method	演習および講義形式とする。 (1) 基本構文習熟のために問題集を使用する。プリント教材等を毎時配付し、熟語、語法、基本 文法を確認し、その運用力と応用力を身につける。 (2) 英文読解のプリント教材を使用し、パラグラフリーディングの基礎を学び、文章の概要と情 報を把握する力を習得する。 (3) 前時既習の基本事項について小テストを行い定着を図る。		
授業内容/Class outline/Con	(1) 授業の最初に前時学習内容の各認のため小テストを行う。出題内容は、基本構文の定着度を みるために和文英訳、整序英作文、空所補充英文完成等。また、熟語、語彙問題も含む。 (2) 英語構文問題集を使って演習を行い、基本的な構文及び、熟語、文法、語彙を確認し定着を 図る。 (3) パラグラフリーディング用プリント教材を使って読解力を身につける。主題に沿った内容把 握の方法を習得する。 使用教材：?英語構文問題集 ?基本構文・文法プ リント教材?演習英文プリント：読解力養成 ?パ ラグラフリーディングの基礎基本教材プリント ?辞書使用		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	(1) 頻出構文・頻出文法事項・長文プリント等の予習プリントを配付し演習・講義の準備を支援 する。 (2) 小テスト等で既習事項の定着を図る		
キーワード/Key word	基本的な構文、文法、語法、熟語、長文の読み方の習熟		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	英語構文(2週間完成)(日英社) (学内書店にて販売) 頻出構文、頻出文法事項+長文プリントを基本的に毎時配付する。 英語辞書を授業時に持参すること。授業用ノートを持参すること。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	(1) 定期考査 60% (2) 中間テスト 30% (3) 授業中活動、課題等を評価に加える(小テ ストを含む) 10%		
受講要件 (履修条件) /Requirements	全回出席を原則とする。英語辞書、ノートを持参すること。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	本授業は基本事項の再確認と応用力の養成、併せて高等学校における英語受講時間数の都合で未習 範囲がある場合に対応できるように、丁寧な講義、演習、資料学習とし、大学英語へ円滑に移行で きるように工夫・構成します。		
授業計画詳細 / Course Schedule			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション(授業の進め方について) 英語基礎テスト(Evaluation Test)を実施する。 (1) Itを中心とした構文
第2回	(2) 助動詞を使った構文 小テスト(前時学習内容確認テスト)?以下各回同様? プリント教材(パラグラフの基本的な構造)
第3回	(3) 不定詞を使った構文 小テスト ?Paragraph-1(プリント) 演習?以下各回同様?
第4回	(4) 動名詞を使った構文 小テスト ?Paragraph-2(プリント)
第5回	(5) 分詞を使った構文 小テスト ?Paragraph-3(プリント)
第6回	(6) 第5文型の構文 小テスト ?Paragraph-4(プリント)
第7回	(7) 比較構文 小テスト ?Paragraph-5(プリント)
第8回	中間試験(第1回?6回の学習内容から出題する)
第9回	(9) 時を表す構文 小テスト ?Paragraph-6(プリント)
第10回	(10) 関係詞を使った構文 小テスト ?Paragraph-7(プリント)
第11回	(11) 条件・仮定を表す構文 小テスト ?Paragraph-8(プリント)
第12回	(12) 譲歩を表す構文 小テスト ?Paragraph-9(プリント)
第13回	(13) 相関関係を表す構文 小テスト ?Paragraph-10(プリント)
第14回	(14) 否定構文 小テスト ?Paragraph-11(プリント)
第15回	(15) その他の構文(プリント) 小テスト ?Paragraph-12(プリント)
第16回	定期試験(中間試験以降?15回の学習内容から出題する)

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/26		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170588020901	科目番号 / Subject code	05880209
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 22111_032		
授業科目名 / Subject	English for Specific Purposes(A) / English for Specific Purposes (A)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	中村 更花 / Nakamura Rika		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	中村 更花 / Nakamura Rika		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	中村 更花 / Nakamura Rika		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生 (クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	arthur410_hotmail.co.jp(必ず件名に授業科目・学生番号・氏名を記入すること)(メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	arthur410_hotmail.co.jp(必ず件名に授業科目・学生番号・氏名を記入すること)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日休み、授業前後		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	TOEIC問題を教材としたリーディングとリスニング学習。速読で大意をつかみ、精読で正確な読解をする。インターネット、音楽、プリントなどを使った文化や社会事情の学習を含む。		
授業到達目標/Goal	1. 自分が必要とする情報を正しく適切に読み取ることができる。2. 基本的な文法・構文・表現方法を習得し、英語を正しく理解することができる。3. 新形式のTOEICの特徴を踏まえて、問題に取り組むことができる。		
授業方法 (学習指導法) /Method	英語の四技能を総合的に伸ばす訓練をする。パートナーと疑問点を話し合い、意見を交換し、その後全体でそれぞれの問題を共有する、という活動を含む。予習してきた内容に基づいて授業を進めていく。毎回無作為に指名して発表してもらう。必要に応じてプリントやインターネットを使用する。小テストを数回行う予定。		
授業内容/Class outline/Con	第1回、2回オリエンテーション・TOEIC全体の流れを確認。第3回~8回リスニング・リーディングセクションの基本的な事柄を交互に確認しながら、TOEIC問題に慣れていく。第9回~14回問題の難易度を少しずつ上げながら、適切な解答の選び方の訓練をする。単語・文法事項も習得していく。第15回まとめ。第16回定期試験。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	リスニングに関しては、一度で完全に聞き取れる人はなかなかいないですから、何度も繰り返し聞いてください。1日5回、10回 それを2日、3日と続けていくうちに、少しずつ英語の音が耳に入っていくようになります。最初は1つの単語、1つの母音・子音だけでも構わないので、聞き取れた音を書き取ってみてください。継続していけば、必ず書き取れる量が増えていきます。それで自分が聞き取れるようになっていくことが確認できると思います。リーディングは、TOEICでは特に速読の力が必要ですが、授業では部分的に丁寧に読むこともしていきます。予習の段階ではまず速読、それから精読を意識して読んでみてください。見慣れない単語が出てきたら、少しずつ覚えていきましょう。		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	石井隆之他『TOEIC LISTENING AND READING TESTオールパワフル演習』(成美堂, 2017年)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験60%、小テスト20%、積極的な授業への参加状況20% (60点以上合格)		
受講要件 (履修条件) /Requirements	授業には必ず予習復習をして臨み、辞書を持参してください(通話・メール機能の付いた電子機器の電子辞書としての使用は原則不可です)。3分の2以上の出席がなければ受験資格を失います(入院・出席停止の伝染病等を除き病欠も欠席扱いとします。正当な理由で欠席する場合は、その証明となる書類を提出してください(コピー可)。授業開始時刻から30分までは遅刻を認めます。それ以降の入室は欠席扱いとなります。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	予習・授業・復習をセットにして頑張りましょう。		

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/24		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170588021001	科目番号 / Subject code	05880210
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 22111_032		
授業科目名 / Subject	English for Specific Purposes(B) / English for Specific Purposes (B)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	中村 更花 / Nakamura Rika		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	中村 更花 / Nakamura Rika		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	中村 更花 / Nakamura Rika		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生 (クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	arthur410_hotmail.co.jp(必ず件名に授業科目・学生番号・氏名を記入すること)(メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	arthur410@hotmail.co.jp(必ず件名に授業科目・学生番号・氏名を記入すること)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日休み、授業前後		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	TOEIC問題を教材としたリーディングとリスニング学習。速読で大意をつかみ、精読で正確な読解をする。インターネット、音楽、プリントなどを使った文化や社会事情の学習を含む。		
授業到達目標/Goal	1. 自分が必要とする情報を正しく適切に読み取ることができる。2. 基本的な文法・構文・表現方法を習得し、英語を正しく理解することができる。3. 新形式のTOEICの特徴を踏まえて、問題に取り組むことができる。		
授業方法 (学習指導法) /Method	英語の四技能を総合的に伸ばす訓練をする。パートナーと疑問点を話し合い、意見を交換し、その後全体でそれぞれの問題を共有する、という活動を含む。予習してきた内容に基づいて授業を進めていく。毎回無作為に指名して発表してもらう。必要に応じてプリントやインターネットを使用する。小テストを数回行う予定。		
授業内容/Class outline/Con	第1回、2回オリエンテーション・TOEIC全体の流れを確認。第3回～8回リスニング・リーディングセクションの基本的な事柄を交互に確認しながら、TOEIC問題に慣れていく。第9回～14回問題の難易度を少しずつ上げながら、適切な解答の選び方の訓練をする。単語・文法事項も習得していく。第15回まとめ。第16回定期試験。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	リスニングに関しては、一度で完全に聞き取れる人はなかなかいないですから、何度も繰り返し聞いてください。1日5回、10回 それを2日、3日と続けていくうちに、少しずつ英語の音が耳に入っていくようになります。最初は1つの単語、1つの母音・子音だけでも構わないので、聞き取れた音を書き取ってみてください。継続していけば、必ず書き取れる量が増えていきます。それで自分が聞き取れるようになっていくことが確認できると思います。リーディングは、TOEICでは特に速読の力が必要ですが、授業では部分的に丁寧に読むこともしていきます。予習の段階ではまず速読、それから精読を意識して読んでみてください。見慣れない単語が出てきたら、少しずつ覚えていきましょう。		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	早川幸治他『全パート横断型TOEIC LISTENING AND READINGテスト総合対策』(金星堂, 2017年)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験60%、小テスト20%、積極的な授業への参加状況20% (60点以上合格)		
受講要件 (履修条件) /Requirements	授業には必ず予習復習をして臨み、辞書を持参してください(通話・メール機能の付いた電子機器の電子辞書としての使用は原則不可です)。3分の2以上の出席がなければ受験資格を失います(入院・出席停止の伝染病等を除き病欠も欠席扱いとします。正当な理由で欠席する場合は、その証明となる書類を提出してください(コピー可))。授業開始時刻から30分までは遅刻を認めず。それ以降の入室は欠席扱いとなります。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	予習・授業・復習をセットにして頑張りましょう。		



学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 3ク ォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2017/11/22		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170588021901	科目番号 / Subject code	05880219
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 12511_002		
授業科目名 / Subject	家族社会学 / Family Sociology		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	賽漢卓娜 / Saihanjuna		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	賽漢卓娜 / Saihanjuna		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	賽漢卓娜 / Saihanjuna		
科目分類 / Class type	総合科学科目, 自由選択科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟12 / RoomA-12		
対象学生(クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	saihanjuna@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	総研棟 1 1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2918		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時(ただし、事前にメールで連絡すること。連絡先: saihanjuna@nagasaki-u.ac.jp)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	社会の基礎単位であり、最も身近な社会集団である家族の基本的な枠組みを学ぶ。その上で、家族の形態や家族規範は社会変容によっていかに変化してきた/変化しているのかに着目する。		
授業到達目標/Goal	?社会学的な素養が身に付き、「常識」から脱出する見方を習得すること。?比較文化的および歴史的な文脈において、家族に関する多様な理解ができることが目的である。		
授業方法(学習指導法) / Method	レジュメやプリントを配布する。講義形式を基本としながら、人数に応じてグループワークを採用することがある。予習と復習を重視する。最終的に、現代の家族にかかわる社会問題・社会現象の中から自分の関心のあるトピックをひとつ選択して、授業で扱った家族社会学の概念を用いて論じる期末レポートを執筆する。		
授業内容/Class outline/Con	第1回?5回まで、家族の基本的な概念と枠組みを紹介する。第6回?9回、歴史的な文脈における家族の変容を紹介する。第10回?15回、ライフサイクルにおける課題および多様化する現代の家族のあり方を紹介する。 第1回 授業ガイダンス、社会学とは何か 第2回 家族社会学の基礎: 家族の普遍性 第3回 家族社会学の基礎: 家族の定義づけと類型 第4回 家族社会学の基礎: 家族の機能 第5回 家族社会学の基礎: 家族内の役割構造 第6回 歴史の中の家族: 家族の起源 第7回 歴史の中の家族: イ工制度と直系家族 第8回 歴史の中の家族: 家事と主婦の誕生 第9回 歴史の中の家族: 子どもの誕生 第10回 結婚と家族 第11回 労働と家族 第12回 貧困化する女性 第13回 教育と家族 第14回 福祉と家族 第15回 グローバリゼーションと家族		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	出席と予習・復習が不可欠。授業外学習に充てるべき時間は週平均2時間以上とする。実際の進展状況に応じて授業計画を変更する場合がありますので注意されたい。		
キーワード/Key word	家族、社会、個人、社会変容		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	授業では随時プリントを配布。適宜参考書を紹介。 野々山久也編 『論点ハンドブック 家族社会学』 世界思想社, 2009年 神原文子・杉井潤子・竹田美知編著 『よくわかる現代家族』 ミネルヴァ書房, 2009年 比較家族史学会編 『現代家族ベディア』 弘文堂, 2015		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	学期末に提出する期末レポート 55%、および、授業参加(コメントシート、ミニレポートを含む) 45%をもとに総合的に評価する。詳細は初回の授業ガイダンスで確認すること。		
受講要件(履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) / Remarks(URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	「家族」とはいったい何なのか？身近なものであるが故にかえってわからないことも大いにある。そのような「家族」を社会学の視点から見てみよう。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	家族：さまざまなかたちと文化
第2回	家族の概念と定義
第3回	家族の種類
第4回	家族の機能
第5回	近代家族のあゆみ
第6回	親族と地域生活
第7回	ライフサイクルと家族の危機
第8回	配偶者選択と結婚
第9回	家族内の内部構造：役割構造と勢力構造
第10回	離婚
第11回	子どもの社会化と親子関係
第12回	家族と高齢者
第13回	多様化する家族
第14回	グループ討論
第15回	総括
第16回	テスト

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 4ク ォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2017/11/28 ~ 2018/01/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170588022001	科目番号 / Subject code	05880220
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 12561_002		
授業科目名 / Subject	宗教学 / Religious Studies		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	滝澤 克彦 / Katsuhiko Takizawa		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	滝澤 克彦 / Katsuhiko Takizawa		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	滝澤 克彦 / Katsuhiko Takizawa		
科目分類 / Class type	総合科学科目, 自由選択科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生(クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	takizawa nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	総合教育研究棟		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時(要事前連絡)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	<p>現代世界に生きる人々の多くは、「宗教」や「科学」について、その対比を通して社会や世界を認識しながらも、両者の違いや関係については極めて漠然としたイメージしか抱いていない。この授業では、《進化論》に焦点を当てることで、そのような「宗教」と「科学」の曖昧なイメージを改めて主題化し、我々が生きる世界で両者がどのような関係にあり、そのような関係性が我々の常識や知識に対して暗黙の内に与えている影響についても考察する。それによって、社会の「常識」や知的環境を相対化し、それらの問題について自分の頭で考えるための足がかりとしたい。</p> <p>本授業は、「宗教」と「進化」というキーワードを通じて近代諸科学の萌芽についても触れるため、宗教学のみならず文理を越えた科学史に関連する授業となる。</p>		
授業到達目標/Goal	<p>(1) 進化論の登場とその時代的背景、それが宗教や学問に与えたインパクトについて理解し、説明できるようになる。</p> <p>(2) 以上の知見をもとに、「宗教」とは何か、「科学」とは何か、という問題に対する「常識」的な理解を相対化し、自分なりの捉え方を見つける。</p>		
授業方法(学習指導法)/Method	<p>各回で以下の授業内容に示された特定のテーマを採り上げ、講義形式の授業を行う。また、毎回の授業の終了時に講義内容に関する簡単なアンケートを実施し、場合によっては次回講義の冒頭で補足を行う。その他にも状況に応じて、適宜討論や質疑の時間を設ける。</p>		
授業内容/Class outline/Con	<p>進化論が近現代社会に与えた影響は多岐にわたるが、宗教に与えた衝撃はとりわけ甚大なものであった。進化論は、かつて神の領域にあった世界に対する知の全てを、完全に人間のものにしようとする近代的な試みの象徴となったからである。</p> <p>本講義では、まず現代世界において「進化論」を認めない人々が多くいる事実などを出発点に、「宗教」と「科学」とのあいだの複雑かつ密接な関係について認識するところから議論を始める。</p> <p>その上で、我々が生きている現在の世界が、どのような宗教や科学に対する知識によって構成されているかを改めて相対化し、現代社会で「当たり前」とされる世界が、決して当たり前でないことを理解する。</p> <p>特に、生命観や人間観をめぐる科学史を振り返り、かつてはそのような分野で多大な影響力をもっていた宗教的世界観の影響がどのように変遷し、そのなかでどのように近代諸科学が芽生えてきたかを学ぶ。さらに、そのような世界観の変遷の中で、進化論が登場してきた時代的背景と、それが社会や近代諸科学に与えたインパクトについて考察する。</p> <p>最後に、現代の進化論論争と宗教的原理主義の関係など、「進化」をめぐる現代の問題に触れながら、現代社会における「宗教と進化をめぐる諸問題」の位置と重要性を理解する。</p>		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	宗教、科学、進化論、生命観、人間観、世界観		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は使用しない。参考文献については授業中に適宜指示する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業への積極的参加(授業ごとのアンケート提出など)50%、学期末レポート50%		
受講要件(履修条件)/Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p>		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			

授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	はじめに?現代の進化論論争を出発点に
第2回	創造論・ID論と進化論
第3回	科学とは何か?我々は何を科学と「信じて」いるのか?
第4回	宗教と科学?その相違と類似
第5回	生命とは何か?
第6回	種とは何か?
第7回	人間とは何か?
第8回	社会とは何か?
第9回	ダーウィンの登場
第10回	進化論と自然選択説
第11回	ダーウィンの人間論
第12回	進化論の社会的インパクト
第13回	進化論と原理主義
第14回	創造論・創造科学・ID論
第15回	まとめ?現代社会における宗教と科学
第16回	定期試験ではなくレポートでの評価のためなし

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2017/11/28 ~ 2018/01/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20170588022101	科目番号 / Subject code	05880221
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	社会生活における情報活用術 / Applications of ICT in Social Life		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	丹羽 量久 / NIWA Kazuhisa, 一藤 裕 / Ichifuji Yu, 上繁 義史 / Ueshige Yoshifumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	丹羽 量久 / NIWA Kazuhisa		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	丹羽 量久 / NIWA Kazuhisa, 一藤 裕 / Ichifuji Yu, 上繁 義史 / Ueshige Yoshifumi		
科目分類 / Class type	総合科学科目, 自由選択科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟12 / RoomA-12		
対象学生 (クラス等) / Object Student	全学部		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	k-niwa nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室 / Laboratory	ICT基盤センター 2階		
担当教員TEL / Tel	095-819-2084		
担当教員オフィスアワー / Office hours	水曜日13:00?16:00 (事前に電子メールで教員と時間調整を行うこと)		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	現代の情報社会を生き抜いていくためには、必要な情報を的確に収集・分析し、適切に加工・発信するスキルを身につける必要がある。本科目では、情報科学科目「情報基礎」で学んだ知識と技能を発展させて、断片的な情報を統合し、それらの価値を増幅させる能力を習得させることを目的としている。 情報の可視化技法や文書作成技法などの実践的な技能を身につけるとともに、プログラミング演習により表計算ソフトの関数がどのように計算処理されているかを理解する。また、さまざまな情報を生成し消去に至る過程に着目したとき、情報セキュリティの視点からこれらの情報を適切に取り扱う方法について学習する。		
授業到達目標 / Goal	デジタル文書作成技法を理解し、整った報告書(レポート)を効率的に作成できる。 表計算技法を理解し、数値データのデータ分析に応用し、その結果をグラフ等で表現できる。 情報セキュリティの基本的な考え方や技術の概要を説明できる。		
授業方法 (学習指導法) / Method	文書作成技法および表計算技法についての講義に加え、複数のアプリケーションソフトウェアを使った演習を随時行う。授業時間外の課題への取り組みと合わせて、各技法を確実に修得できるようにする。 演習・課題については理解状況に応じてフィードバックを行い、学習成果を振り返る機会を設ける。 少人数グループ内で協同作業を行う課題では、教え合いにより質問者・回答者ともに理解を深めさせる。		
授業内容 / Class outline / Con	授業計画にしたがって進める予定である。ただし、受講者の理解状況等に応じて回数・順序・方法等を調整することがある。 初回授業よりノートパソコンを利用するので、必ず持参すること。		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	授業で指示する。		
キーワード / Key word	デジタル文書作成技法、表計算技法、情報セキュリティ、プログラミング		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	【教科書・教材】 情報科学科目「情報基礎」のテキスト(オレンジ色), LACS上で提供する教材。 【参考書】 [1] 高杉尚孝: 『論理表現力』, 日本経済新聞社, 2010年6月。 [2] テクニカルコミュニケーター協会: 『日本語スタイルガイド 第2版』, テクニカルコミュニケーター協会, 2011年4月。 [3] 古郡延治: 『論文・レポートの文章作成技法 論理の文章術』, 日本エディタースクール出版部, 2006年3月。 [4] 富士通エフ・オーエム株式会社: 『Microsoft Office Specialist Microsoft Word 2016対策テキスト&問題集』, FOM出版, 2017年3月。 [5] 富士通エフ・オーエム株式会社: 『Microsoft Office Specialist Microsoft Excel 2016対策テキスト&問題集』, FOM出版, 2017年3月。 [6] クリストファー・ハドナジー著、成田光彰訳、「ソーシャル・エンジニアリング」、日経BP社、2012年11月		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	授業中の演習課題および授業時間外に課す予習・復習・レポートの提出状況とその内容を総合的に評価する。		
受講要件 (履修条件) / Requirements	全回出席を原則とする。やむを得ず正当な理由で欠席する場合は担当教員に連絡すること。 授業中だけでなく、授業時間外においても、課題および予習・復習等に取り組むこと。 授業には必ずノートパソコンを持参すること。初回授業より利用する。		

アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks(URL)	<a href="https://lacs.nagasaki-u.ac.jp">https://lacs.nagasaki-u.ac.jp</a>
学生へのメッセージ/Message for students	本科目では、予習 授業 復習による学習サイクルを確実に実施することが欠かせない。この学習サイクルを確実に行うことで、本科目の学習内容がただ難解なコンピュータの話などではなく、私たちの生活全般にかかわる身近な事柄であることを学びとってもらいたい。？
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	【ガイダンス】 この科目の概要、目的、目標、内容、進め方、評価方法について説明する。 情報科学科目「情報基礎」の授業内容に関連した復習課題を指示する。 【文書作成技法(1/2)】以下の内容を2回に分けて取り上げる。 読者に誤解が生じないように文章表現を明瞭にすることは重要である。文書作成技法の一つとして、論理展開に対応した文の接続に重点を置いて、文書構造を意識して助詞や接続詞を使い分ける方法について講義する。関連する新聞記事等を取り上げた演習により、論理展開に沿った適切な文の接続について考える。 また、一連の文書作成作業を容易にかつ効率的に作業するスキルも備えておくべきである。文書データの構造化を意識した文書作成ソフトの活用方法として、Microsoft Wordの機能（アウトライン、スタイル、目次の自動生成、校閲機能、検索・置換等）を取り上げて、共同作業を交えながら演習課題に取り組んでいく。
第2回	【文書作成技法(2/2)】
第3回	【情報社会の安全を脅かす脅威の数々(1/2)】 (独) 情報処理推進機構が毎年発行している「10大脅威」を題材として、ICTなどの安全な利活用を阻害する技術的な脅威の最新トレンドを学習する。
第4回	【情報社会の安全を脅かす脅威の数々(2/2)】
第5回	【表計算技法(1/2)】以下の内容を2回に分けて取り上げる。 「情報基礎」の復習課題のうち、クラス内で理解度が低いと考えられるものがあれば、取り上げて解説する。 Microsoft Excelに備わっている関数のうち、実務での利用頻度が高いものを取り上げた演習を行う。
第6回	【表計算技法(2/2)】
第7回	【情報を守る技術の基礎(1/2)】 最近利用されている代表的な情報セキュリティ技術として、暗号、デジタル署名、認証についてその技術的な手法を学ぶとともに、安全性の根拠の概要を学ぶ。
第8回	【情報を守る技術の基礎(2/2)】
第9回	【分析のための可視化(1/2)】以下の内容を2回に分けて取り上げる。 さまざまな情報の特徴等を考察する際、それらを視覚的に表現することは理解を助けるために有効な手段である。各回の授業では、情報の変換、グラフを用いた分析、グラフ作成の原則についての講義を行い、可視化の重要性について理解を深める。 Microsoft Excelによるグラフ（円グラフ、組み合わせグラフ、散布図等）の描画法を習得した後、与えられた課題の目的に応じて、データ群をどのように可視化するのがよいかを考える発展課題に取り組む。
第10回	【分析のための可視化(2/2)】
第11回	【ソーシャルエンジニアリングに見る人間のセキュリティ(1/2)】 人間の心理的な脆弱性を突いて、情報を入手したり、破壊したりしようとする攻撃手法「ソーシャルエンジニアリング」がどのように行われるかを学習し、攻撃から身を守るための術を考える。
第12回	【ソーシャルエンジニアリングに見る人間のセキュリティ(2/2)】
第13回	【プログラミング(1/2)】以下の内容を2回に分けて取り上げる。 Microsoft Excelで利用する関数が実際にどのようにプログラムされ実行されているかについて、Ruby言語を使って演習を通じて理解を深める。
第14回	【プログラミング(2/2)】
第15回	【プログラミングの解説および復習】 授業で取り上げた関数や課題について解説を行い、プログラミング作成のための理解を深めるとともに発展課題に取り組む。

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 3ク ォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2017/11/22		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20170588022201	科目番号 / Subject code	05880222
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	学生発案! 学生として今をどう生きるべきか考える実践型授業 / Students-Produced Course : Course to Think About Your Future		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	前田 裕介 / Maeda Yusuke, 西久保 裕彦 / HIROHIKO NISHIKUBO, 北村 史 / Kitamura Fumito, 井 口 茂 / Inokuti Shigeru		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	前田 裕介 / Maeda Yusuke		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	前田 裕介 / Maeda Yusuke, 西久保 裕彦 / HIROHIKO NISHIKUBO, 北村 史 / Kitamura Fumito, 井 口 茂 / Inokuti Shigeru		
科目分類 / Class type	総合科学科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生(クラス等) / Object Student	全学部学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	前田裕介: maeday[at]nagasaki-u.ac.jp 北村史: kitamura[at]nagasaki-u.ac.jp 西久保裕彦: h-nishikubo[at]nagasaki-u.ac.jp 井口茂: shigeru[at]nagasaki-u.ac.jp  メールを送信する際は[at]を@に変えてください。		
担当教員研究室/Laboratory	前田裕介: 美術技術研究棟2階 オープンラボ1 北村史: 美術技術研究棟2階 オープンラボ1 西久保裕彦: 環448 井口茂: なし		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	前田裕介: 月曜日?金曜日の16:00?17:00 北村史: 月曜日?金曜日の16:00?17:00 西久保裕彦: 木曜日 12:00?13:00 井口茂: 月・火・金曜日の16時以降  いずれも事前にメールで連絡をとっていただくとスムーズです。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	本科目は、学生による教育改善のための協議会(以下、学生協議会)が主体となって発案したもので す。長崎大学では、全学共有学士像のひとつとして「自ら学び、考え、主張し、行動することが できる」人の育成を目指しています。この学士の資質は、過去の学生協議会の調査から学生自身も 必要性を感じていることが明らかになっています。 そこで本科目では、「人生」を青年期(現在)、壮年期、向老期の3つのステージに分け、先輩と一 緒に「学生として今をどう生きるべきか」を考え、様々な視点から各々の自発性や自己表現力を養 っていきます。		
授業到達目標/Goal	学際的な交流を通じた幅広いモノの見方、考え方を以下の4つの観点から評価する。 1. 発表やディスカッションに向けて必要な情報を収集・分析することができる。 2. 根拠を示した上で、発表やディスカッションの場で自分の意見を主張することができる。 3. グループワークを通じて他者の意見を尊重しつつ、積極的なディスカッションができる。 4. 自分のグループ内で、課題や目標に向けた効果的な関わり方を明確にし、それに応じた行動がで きる。 5. 自分のこれからの人生についての考えを深め、表現することができる。		
授業方法(学習指導法)/Method	本科目は、座学と並行してペアやグループで行うディスカッションおよび全体での意見交換の機会 も設け、受講生の主体的な参加を求めます。本科目はA?Cのパートに分かれており、各パートの終わ りにはレポート課題を課すことで、自分の理解度を確認します。		
授業内容/Class outline/Con	第1回では、オリエンテーションとして学生協議会や科目担当教員の紹介、授業概要を説明します。 第2回では、「将来の理想像とその理由」について考えるワークを行います。第3回?第6回(Aパート )では、大学生について考えます。第7回?第10回(Bパート)では、働き方等について考えます。 第11回?第14回(Cパート)では、ライフイベント(出産、子育て、介護等)について考えます。第 15回では、本科目の総合的な振り返りを実施します。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	学生発案型授業、人生、大学生、働き方、ライフイベント、モノの見方・考え方、課題発見力、課 題解決力		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	必要な場合は、学生が自ら準備する、もしくは教員が事前にLACSに資料を上げる。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	各パートでの小レポート 5点×3=15点 各パートでの発表 15点×3=45点 グループ活動での貢献 5点×3=15点 まとめレポート 25点  100点満点のうち、60点以上を合格とします。		
受講要件(履修条件)/Requirements	受講生の人数は30名を上限とし、希望者が30名を超える場合は抽選を行って受講生を決定します。		

アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	学生による教育改善のための協議会とは、長崎大学における教育、学生生活等の改善に当たり、学生の意見、要望等を直接反映させることを目的とし、教務委員会の下部組織として設置されています。学生協議会は各学部から選出された学生により運営されています。 <a href="https://www.facebook.com/fdnagasaki/">https://www.facebook.com/fdnagasaki/</a>
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション（学生協議会の紹介、科目担当教員の紹介、シラバスの説明など） 担当：学生協議会委員、北村史（大学教育イノベーションセンター）、前田裕介（大学教育イノベーションセンター）
第2回	「将来の理想像とその理由」について考えるワーク 担当：学生協議会委員、北村史（大学教育イノベーションセンター）、前田裕介（大学教育イノベーションセンター）
第3回	「大学生」について（講義、グループディスカッション） 担当：学生協議会委員、北村史（大学教育イノベーションセンター）、前田裕介（大学教育イノベーションセンター）
第4回	「大学生」について（グループディスカッション、情報収集） 担当：学生協議会委員、北村史（大学教育イノベーションセンター）、前田裕介（大学教育イノベーションセンター）
第5回	「大学生」について（グループでの発表準備、発表、振り返り、講評） 担当：学生協議会委員、北村史（大学教育イノベーションセンター）、前田裕介（大学教育イノベーションセンター）
第6回	「大学生」について（グループでの発表準備、発表、振り返り、講評） 担当：学生協議会委員、北村史（大学教育イノベーションセンター）、前田裕介（大学教育イノベーションセンター）
第7回	「働き方」について（講義、グループディスカッション） 担当：西久保裕彦（環境科学部）
第8回	「働き方」について（グループディスカッション、発表） 担当：西久保裕彦（環境科学部）
第9回	「働き方」について（講義、グループディスカッション） 担当：西久保裕彦（環境科学部）
第10回	「働き方」について（グループディスカッション、発表） 担当：西久保裕彦（環境科学部）
第11回	「ライフイベント」について（講義、グループディスカッション） 担当：井口茂（医学部保健学科）
第12回	「ライフイベント」について（グループディスカッション、情報収集） 担当：井口茂（医学部保健学科）
第13回	「ライフイベント」について（グループでの発表準備、発表、振り返り、講評） 担当：井口茂（医学部保健学科）
第14回	「ライフイベント」について（グループでの発表準備、発表、振り返り、講評） 担当：井口茂（医学部保健学科）
第15回	講義全体の振り返り、発表、まとめ、授業アンケート 担当：学生協議会委員、北村史（大学教育イノベーションセンター）、前田裕介（大学教育イノベーションセンター）



学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2017/06/05 ~ 2017/08/02		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170590090501	科目番号 / Subject code	05900905
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 11261_001		
授業科目名 / Subject	平和講座 / On the Peace		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	戸田 清 / Toda Kiyoshi, 篠崎 正人 / Shinozaki Masato, 国武 雅子 / Kunitake Masako, 黒滝 直弘 / Kurotaki Naohiro		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	戸田 清 / Toda Kiyoshi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	戸田 清 / Toda Kiyoshi, 篠崎 正人 / Shinozaki Masato, 国武 雅子 / Kunitake Masako, 黒滝 直弘 / Kurotaki Naohiro		
科目分類 / Class type	A科目群 総合科目, 総合科学科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟44 / RoomB-44		
対象学生(クラス等) / Object Student	全学部 1年、2年、3年、4年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	toda nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	環境科学部 4階環404戸田教員室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2726		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜午後4時から5時、在室ならいつでも可		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	長崎大学文教キャンパスは三菱兵器製作所大橋工場の跡地であり、ここでは学徒動員令や女子挺身 勤労令などによって動員された多くの若者たちが航空機用魚雷の生産に従事、原爆によって、そ の多くが爆死した。敗戦後、日本人は「人間相互の関係を支配する崇高な理想を自覚」し、国家再 建の基礎を「人類普遍の原理」に求めて戦争を放棄し、「平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼 して安全と生存を保持しよう」と決意した。」1983年に始まった本講座は、その決意を受け継ぎ、平 和を愛し探究心に富む学生諸君の思索と生活の原点に資すべく、戦争・暴力・平和についての基礎 的資料と基本的な分析理論を提供しゆとするものである。		
授業到達目標/Goal	戦争の実態、暴力と平和についての認識を深め、世界の情勢を深く理解し、基本的人権を尊重して 自由と平和と平等を愛する文化国家の建設に努める態度を身につけることができる。		
授業方法(学習指導法)/Method	各講義ごとに、担当講師が講義に使用するプリントなどを用意し、講義を行う。講師によっては、 ビデオ、DVD、スライドなども利用する。		
授業内容/Class outline/Con	講義内容は多岐にわたるので、以下のように各講師がそれぞれテーマを掲げて講義する。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業期間中の任意の日時に、岡まさはる記念長崎平和資料館(月曜休館、JR長崎駅前のNHK横の 坂をのぼり、カトリック26聖人記念館のすぐ先)を訪問してください。そのレポートを提出すれば 加点します。なお長崎原爆資料館のレポートも加点になります。		
キーワード/Key word	戦争、暴力、平和、格差、原爆、原発、枯葉剤、劣化ウラン、有事体制、イラク戦争、構造的暴力 、死刑、テロ、集団的自衛権		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	特定の教科書は用いないが、プリント資料を適宜配布し、またスライド、DVD、ビデオなどを利 用して、講義の理解を深めるのに役立てる。参考書は高橋。舟越編『ナガサキから平和学する』法 律文化社2009年、戸田清『核発電を問う』法律文化社2012年、など。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	レポート100%。出席を欠かさず、受講することを重視する立場から、講義への取り組みの積極 性と担当講師が課したレポートの作成を総合的に評価する。		
受講要件(履修条件)/Requirements	受講要件は特になし。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、すべての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなる社会的 障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮などのサポートに ついては、担当教員またはアシスト広場(障がい学生支援室)にご相談ください。 アシスト広場(障がい学生支援室) 電話095-819-2006、ファクス095-819-2948 電子メール support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)	<a href="http://todakiyosi.web.fc2.com/">http://todakiyosi.web.fc2.com/</a>		
学生へのメッセージ/Message for students	被爆地の大学に学ぶ学生として、書籍、新聞、テレビ、インターネットなどを通じて戦争、暴力、 平和をめぐる世界と日本の動向に関心をもってほしい。IS邦人人質事件などにも関心を。原爆資料 館だけでなく、岡まさはる記念長崎平和資料館も訪れてほしい。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
1 6月14日5限	戸田 米国のオバマとトランプの戦争		
2 6月14日6限	戸田 ナチスドイツのT4作戦		
3 6月21日5限	国武雅子 戦時性暴力と日本軍慰安婦問題		
4 6月21日6限	国武 戦時性暴力と日本軍慰安婦問題		
5 6月28日5限	国武 女性参政権運動と戦争協力		
6 6月28日6限	国武 銃後の生活 戦争と国民生活の統制		

7 7月5日5限	山川剛 長崎原爆とその後
8 7月5日6限	戸田 日本軍七三一部隊
9 7月12日5限	山崎年子 二重被爆の父と生きる
10 7月12日6限	休講
11 7月19日5限	西岡由香 世界から見たナガサキ 90日間世界一周
12 7月19日6限	西岡 いのちを守るまちづくり
13 7月26日5限	篠崎正人 有事体制と長崎・佐世保 1
14 7月26日6限	篠崎 有事体制と長崎・佐世保 2
15 8月2日5限	黒滝直弘 健康格差について 1
16 8月2日6限	黒滝 健康格差について 2 なお定期試験はありません

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2017/11/22		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170590090502	科目番号 / Subject code	05900905
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 11261_001		
授業科目名 / Subject	平和講座 / On the Peace		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	戸田 清 / Toda Kiyoshi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	戸田 清 / Toda Kiyoshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	戸田 清 / Toda Kiyoshi, 関口 達夫 / Sekiguchi Tatsuo, 国武 雅子 / Kunitake Masako, 富塚 明 / Tomiduka Akira		
科目分類 / Class type	A科目群 総合科目, 総合科学科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟21 / RoomA-21		
対象学生 (クラス等) / Object Student	全学部 1年, 2年, 3年, 4年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	toda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	環境科学部 4階環404戸田教員室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2726		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜午後4時から5時。在室ならいつでも可。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	長崎大学文教キャンパスは三菱兵器製作所大橋工場の跡地であり、ここでは学徒動員令や女子挺身 勤労令などによって動員された多くの若者たちが航空機用魚雷の生産に従事中、原爆によって、 その多くが爆死した。敗戦後、日本人は「人間相互の関係を支配する崇高な理想を自覚し」、国家 再建の基礎を「人類普遍の原理」に求めて戦争を放棄し、「平和を愛する諸国民の公正と信義に信 頼して安全と生存を保持しよう」と決意した。」1983年に始まった本講座は、その決意を受け継ぎ、 平和を愛し探究心に富む学生諸君の思索と生活の原点に資すべく、戦争・暴力・平和についての基 礎的資料と基本的な分析理論を提供しようとするものである。		
授業到達目標/Goal	戦争の実態、暴力と平和についての認識を深め、世界の情勢を深く理解し、基本的人権を尊重して 自由と平等と平和を愛する文化国家の建設に努める態度を身につけることができる。		
授業方法 (学習指導法) /Method	各講義ごとに、担当講師が講義に使用するプリントなどを用意し、講義を行う。講師によっては、 ビデオ、DVD、スライドなども利用する。		
授業内容/Class outline/Con	講義内容は多岐にわたるので、以下のように各講師がそれぞれテーマを掲げて講義する。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業期間中の任意の日時に、岡まさはる記念長崎平和資料館 (月曜休館、JR長崎駅前のNHK横の 坂をのぼり、カトリック26聖人記念館のすぐ先) を訪問してください。そのレポートを提出すれば 加点します。なお長崎原爆資料館のレポートも加点になります。		
キーワード/Key word	戦争、暴力、平和、格差、原爆、原発、枯葉剤、劣化ウラン、有事体制、イラク戦争、構造的暴力 、死刑、集団的自衛権、テロ		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	特定の教科書は用いないが、プリント資料を適宜配布し、またスライド、ビデオ、DVDなどを利 用して、講義の理解を深めるのに役立てる。参考書は高橋・舟越編『ナガサキから平和学する』法 律文化社2009年、戸田清『核発電を問う』法律文化社2012年、など。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	レポート100%。出席を欠かさず、受講することを重視する立場から、講義への取り組みの積極 性と担当講師が課したレポートの作成を総合的に評価する。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	受講要件は特になし。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、すべての学生が平等に教育を置ける機会を確保するため、修学の妨げとなりうる社 会的障壁の除去および合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮などのサポ ートについては、担当教員またはCにご相談ください。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 電話095-819-2006 ファクス095?819?2948 電子メール support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)	<a href="http://todakiyosi.web.fc2.com/">http://todakiyosi.web.fc2.com/</a>		
学生へのメッセージ/Message for students	被爆地の大学に学ぶ学生として、書籍、新聞、テレビ、インターネットなどを通じて戦争、暴力、 平和をめぐる世界と日本の動向に関心をもってほしい。ISの人質事件などにも関心をもってほし い。長崎原爆資料館だけでなく、岡まさはる記念長崎平和資料館も訪れてほしい。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
1 10月4日5限	戸田清 米国のオバマとトランプの戦争		
2 10月4日6限	戸田 ナチスドイツのT4作戦		
3 10月11日5限	富塚明 原発と核燃料サイクル		
4 10月11日6限	戸田 公害事件としての原発事故		
5 10月18日5限	国武雅子 戦時性暴力と日本軍慰安婦問題?		
6 10月18日6限	国武 戦時性暴力と日本軍慰安婦問題?		

7	10月25日5限	国武 女性参政権運動と戦争協力
8	10月25日6限	国武 銃後の生活 戦争と国民生活の統制
9	11月1日5限	川副忠子 長崎原爆と平和教育、核兵器廃絶運動
10	11月1日6限	戸田 日本軍七三一部隊
11	11月8日5限	山崎年子 二重被爆の父と生きる
12	11月8日6限	富塚明 核兵器廃絶運動、原爆症認定裁判
13	11月15日5限	富塚 日米関係を考える
14	11月15日6限	関口 長崎原爆を報道する
15	11月22日5限	関口 長崎原爆を報道する 集団的自衛権
16	11月22日6限	休講 定期試験は行いません。